

資 料 3

～新たな目標達成に向けた各団体の取組状況～

各団体の取組内容一覧	・ ・ ・ P 1
《兵庫県》	・ ・ ・ P 1 1
《岡山県》	・ ・ ・ P 1 9
《広島県》	・ ・ ・ P 2 4
《徳島県》	・ ・ ・ P 2 9
《香川県》	・ ・ ・ P 3 4
《愛媛県》	・ ・ ・ P 4 1
《高知県》	・ ・ ・ P 4 5
《本四高速》	・ ・ ・ P 5 1
《NEXCO西日本》	・ ・ ・ P 5 4
《四国地整》	・ ・ ・ P 5 7

環瀬戸内海地域の交流促進に向けた本協議会の取組



情報発信

- 観光地名称を表示した標識
⇒直轄国道以外に拡大
- 案内の多言語化
⇒英語表記の適正化
- 高速道路ナンバリング等
⇒印刷物への記載促進
- 自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報
- 情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ
- 四国八十八景のプロモーション
- 本四高速の新たな料金の広報
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信



観光連携

- 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウオーク
- 観光地における渋滞緩和
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- 2次交通の改善、M a a S
- 周遊を支援する事業の実施
⇒県独自の取組み



産業連携

- 物流機能の強化
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- 産業基盤の整備
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- ワークーション、サテライトオフィス等の取組



生活、文化等

- 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加



その他

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- 「道の駅」施設管理における見える化
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- 道路ネットワーク整備



観光地名称を表示した標識

兵庫県	平成30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は既に完了（対策箇所1箇所）。 完 県道志筑郡家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更。
広島県	国道183号の交差点において、H29年に国営公園の名称を表示した標識に改善。 完
徳島県	県道鳴門池田線において、観光地名称を表示した案内標識を設置。引き続き、地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	直轄14か所、直轄以外3か所で実施。今後直轄以外の路線においても改善が必要な箇所について整備を推進。

案内の多言語化

兵庫県	平成27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了（淡路島内シール貼対応:349枚） 完
岡山県	令和元年度に県内景勝地等の英語表記を決定。案内標識の更新・新設のタイミングに合わせて順次整備。
広島県	宮島周辺道路等の主要な観光地において英語表記を適正化。 完
徳島県	地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	令和元年度に英語表記対訳リストの素案を作成済。現在、地理院地図に対する英語表記との突合作業を実施中。

高速道路ナンバリング等

兵庫県	淡路島内の県管理道路について、2019年度までにすべて完了（対策箇所34箇所）。 完
広島県	計画箇所においてR2年までに設置完了。 完
徳島県	『徳島県の道路』パンフの中で地図上の高速道路にナンバリングを記載。 完
四国地整	高規格道路、直轄国道等の対象路線においては2020年末までに完了。 完

情報発信（2 / 2）

令和4年8月5日時点

情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ

兵庫県

YouTubeによる淡路島観光動画の放映。完



四国八十八景のプロモーション



四国地整

「四国八十八景」と「道の駅」が相互連携し電子スタンプラリー。



SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

兵庫県

兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載。

香川県

デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信など、効果的な情報発信により誘客促進をはかる。

愛媛県

デジタルマーケティングを活用したサイクリスト誘致促進

観光連携（1 / 3）

令和4年8月5日時点

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

兵庫県	淡路島内のサイクリングコース「 アワイチ 」での走行環境整備等。
岡山県	岡山県サイクリング推奨 8 ルートを活用した「おかやまハレいろサイクルスタンプラリー」の実施。 NEW
広島県	・サイクリング環境の整備（矢羽根型路面標示・ルート案内板・急勾配注意看板等の設置、道路空間再分配など） ・サイクリングに関する取組の推進（サイクリングマップ作成、サイクルイベント等出展、自転車マナーアップ啓発事業、人気漫画とコラボしたサイクリングウェア等作成、しまなみ海道自転車道無料化など）。 ・やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022の開催。 NEW
愛媛県・広島県	サッカー公式試合での交流促進（ブース出展して観光パンフレット等を配布）。
徳島県	・鳴門市による「海峡またぎ」事業を開始し、トラック・マイクロバス・路線バスを活用した自転車輸送で、鳴門海峡を渡りサイクリストのニーズに対応。 ・サイクリング専用の大型バス「サイクル・キャビン」を製作し、サイクリングツアーを開催。 NEW
広島県・愛媛県	サイクリングしまなみ 2 0 2 2 の開催、「E - B I K E アクションしまなみ」の展開、受け入れ環境の整備（ブルーライン、案内看板、路肩拡幅、矢羽根の設置）、しまなみ海道の自転車通行料金の無料化
四国 4 県	サイクリングアイランド四国の実現に向けた取り組み（四国一周路面案内ピクトの整備、四国一周モニュメントの設置、完走者によるしまなみ訪問の仕掛け、四国一周ファンミーティング）
愛媛県	サイクリング・マナーアップに向けた取り組み（キャッチフレーズ「あいさつ響く 愛顔のShimanami」の制定、ボイスメッセージの設置、コロナ禍におけるサイクリングマナーを策定）
本四高速・愛媛県	瀬戸内地域の サイクリングルートのネットワーク化 の推進。

※下線部は、令和3年度第2回協議会に新しく追加した項目

観光連携（2 / 3）

令和4年8月5日時点

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

兵庫県・徳島県	・明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォークの開催。 ・「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す。	NEW
香川県	・環瀬戸協議会HP等掲載のインフラマップの情報更新や旅行業者に対する情報提供等により、『インフラツーリズム』の認知度向上と、民間主体のインフラツーリズムの構築に向けた取組みを実施。 ・「屋島ウォーク」や「里海ガイドと行く『海辺のおでかけマップ』ウォーキングツアー」を実施。	
愛媛県	しまなみ海道の更なる魅力向上（来島海峡大橋のキャッチコピー「クラウン・ブリッジ」を制定、アート・モニュメントの設置、サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等の支援、ローカル 5 Gを活用したオリジナルムービー、来島海峡大橋と欧米豪の著名な橋との「姉妹橋協定」の締結に向けた取組み）	
本四高速	・長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施。 ・塩飽諸島を初めとした瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化。	
広島県	ドライブスタンプラリーにおいて「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を実施。	NEW

観光地における渋滞緩和

兵庫県	湊交差点にて、R2年度までに交差点改良事業を実施。完
広島県	宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの対策実施。

利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

岡山県	観光情報サイト「岡山観光WEB」によりモデルドライブルートを紹介。
広島県	・R2年に広島湾域の水上・海上交通の利活用に関するMAP作成。完 ・R1年に宇品旅客ターミナル観光案内所リニューアル。完 （観光案内・地図・パンフレット提供、ディスプレイによる瀬戸内の観光情報の動画放映、無料公衆無線LANサービス） ・宇品外貿において大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナル整備。 ・R2年に宮島口旅客ターミナルの供用開始、ターミナル内に観光案内所を開設。完

※下線部は、令和3年度第2回協議会に新しく追加した項目

観光連携（3 / 3）

令和4年8月5日時点

2次交通の改善、M a a S

兵庫県	- 神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線。（淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行）をR3.12.1に新設。 完 - 高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売。
-----	---

周遊を支援する事業の実施

兵庫県	- 時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設。 NEW - 旅をきっかけに健康になるツーリズムや、ワーケーションを新たな観光として推進。
岡山県	- 岡山デスティネーションキャンペーン「こころ晴ればれ おかやまの旅」の開催。 NEW - 岡山後楽園 夜間特別開園などの実施。
徳島県	「ぐるっと徳島周遊観光キャンペーン」を実施し、来県した観光客の円滑な県内周遊を促進。 - 県内及び対象地域に在住の方が県内で宿泊、旅行商品を購入した場合に、代金の助成を行うとともに、県内の利用対象施設で利用できるクーポンを提供する「みんなで！とくしま応援割」を実施。 NEW
香川県	- 香川県への旅行に対する助成を行うとともに、土産物店、観光施設等で利用可能なクーポン券を発行。 - 宿泊施設が行う感染症対策や、ワーケーションの受入環境等、新たな事業展開に要する経費を支援。 完 - OTAと連携し、新たな観光スタイルに対応した体験コンテンツを造成、販売することで誘客を図る。
愛媛県	- えひめ南予きずな博の開催。 - しまなみ海道自転車道を利用する修学旅行を対象にレンタサイクル費用等の一部を助成。 「広域サイクルツーリズム圏域」の形成。
高知県	高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」。
NEXCO	- 観光振興に向けた取り組み（ドライブパス）。 - 高速道路を活用した地域貢献の取組み（えひめ南予きずな博ドライブパスほか）。 NEW

※下線部は、令和3年度第2回協議会に新しく追加した項目

産業連携

令和4年8月5日時点

物流機能の強化

徳島県	埋立地にできる新たな産業拠点と高規格道路を結ぶ地域活性化ICを整備し、物流機能の強化を図る。
NEXCO	高速道路における駐車マスの拡充。

産業基盤の整備

兵庫県	・淡路島中央SICの整備（平成30年2月開通）。 完 ・ <u>洲本市の企業用地（誘致推進）。</u>
岡山県	<u>産業団地開発支援事業（市町村が行う産業団地開発事業の経費に対する無利子貸付）の創設（令和3年度）。</u>
徳島県	徳島津田ICのフルインターチェンジ化により、産業拠点と県南地域へのアクセス性向上を図る。
香川県	<u>香川県企業誘致助成制度による助成やワンストップサービスによる各種行政手続の支援により企業誘致を促進。</u>
愛媛県	大規模工場等の誘致に向けた産業用地確保の取組み。
高知県	<u>産業基盤の整備。</u>
本四高速	坂出北ICのフルインター化。

ワーケーション、サテライトオフィス等の取組

兵庫県	パソナグループによるワーケーション拠点施設の開設（令和3年4月）。 完 （神戸淡路鳴門自動車道の淡路IC付近）
香川県	<u>サテライトオフィス開設や事業所として取得した空き家の改修、拠点整備などの経費の一部を支援。</u>

※下線部は、令和3年度第2回協議会に新しく追加した項目

皿 生活、文化等

令和4年8月5日時点

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

高知県	歴史的遺産のネットワーク構築とP R。
本四高速	瀬戸内地域に存する 美術館・博物館81施設のネットワークのつながりを深化、発展 させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献。

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

	以下のような取組を実施 完 【誘客キャンペーン】 ・心斎橋PARCO（令和3年3月9～16日）、銀座蔦屋書店（令和3年3月13～27日）において誘客キャンペーンを実施し、淡路島の魅力を広くPRを実施。 ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施。 【インバウンド対応】 ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を8K映像に収めたプロモーション動画を制作し、国内外に淡路島の魅力を発信。 【御食国淡路島の推進】 ・海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘するとともに、台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。 【淡路花博花みどりフェア】の開催】 ・「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR ※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン（4/10,11）」を実施。
兵庫県	
徳島県	高速道路SAやイベント会場において、環瀬戸内海の食文化パネル展等を実施。
本四高速	<u>地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し</u> 地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点 として、 SA・PAを最大限活用。

その他（1 / 2）

令和4年8月5日時点

「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

兵庫県	以下のような取組を実施 【観光客の実態調査】 調査実績なし。 ※「道の駅うずしお」→全国道の駅最強ランキング（2021.8）で全国1位 ※「道の駅あわじ」→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位 【トイレの洋式化】 ・淡路島内の道の駅（「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」）において、いずれも洋式トイレは設置済み（洋式化率は4駅全体で62%）。 完 ・道の駅あわじにてトイレ改修済み（R元年度）。 完 【フリーWiFi設置】 ・淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済み。 完 【スタンプラリーの実施】 ・R3年度より道の駅カードを販売（県内35駅のうち30駅が参加）。 →30駅すべて集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。 ※上記はいずれも近畿道の駅連絡会、兵庫県道の駅連絡会による。
岡山県	Wi-Fiは、市町村と連携し、県内の全駅で整備完了。県所管の和式トイレ（8駅）は、洋式化対応完了。 完
広島県	道の駅舞羅IC千代田等において、トイレの洋式化を実施。
徳島県	・トイレの洋式化、フリーWi-Fiの整備。 完 ・「とくしまブリッジカード」を配布（英語版を作成予定）。 ・道の駅穴喰温泉などを周遊する「DMV」の運行を開始。 NEW
香川県	道路管理者が管理する7駅におけるトイレの洋式化に全て対応（R2年度完了）。 完
四国地整	【トイレの洋式化】 ・直轄一体型「道の駅」は令和4年度中に整備完了を目指す。 【フリーWiFiの設置、キャッシュレス決済環境の整備、免税対応・免税店の拡大、多言語対応】 ・各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、整備を促進。 【道の駅での相互連携】 ・「四国八十八景」とコラボした「<u>電子スタンプラリー</u>」を実施。

 その他（2／2）

令和4年8月5日時点

「道の駅」施設管理における見える化

広島県	サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して毎年度3～4駅ずつ点検を実施。
四国地整	快適な「道の駅」を目指すために、定期的な点検やアンケート等を実施し、改善を図る。

道路ネットワーク整備

徳島県	命の道である高規格道路のミッシングリンク解消に向けた要望活動を引き続き行うとともに、地方創生の礎となる県管理道路の整備を行い、移動しやすい道路環境を創出する。
四国地整	令和3年4月に「 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム 」を策定し計画的に推進。

<兵庫県>誘致効果【洲本市の企業用地（誘致推進）】

1.誘致施策

【兵庫県：H14.4月から】

- ①補助金
→設備投資、雇用
- ②税軽減
→不動産取得税、法人事業税

【洲本市：H23.4月から】

- ①企業誘致奨励金
→固定資産税相当額を5年間
- ②雇用促進奨励金
→新規雇用（市民）1人につき30万円
- ③事業所施設設置奨励金
→床面積（1,000㎡を超える分）1㎡につき1万円
- ④高速道路渡橋料金補助（R3.1月から）
→1の年度につき60万円

2.誘致効果

淡路島中央SIC整備決定(H25.6月)後に立地した企業

企業名	所在地	業務内容
①田中飼料(株)(本社 京都市) (R3.1開業)	洲本市五色町 鮎原南谷	飼料化リサイクル
②大昭和精機(株)(本社 東大阪市) (H28.10開業)	洲本市五色町 鮎原中邑	工具保持具、精密測定機器の開発、製造
③浜田化学(株)(本社 尼崎市) (R1.12開業)	洲本市五色町 下堺	食品加工、バイオディーゼル燃料製造
④(株)グリーンフィールド(本社 大阪市) (R1.12一部開業)	洲本市五色町 都志万歳	会員制リゾートホテル



■淡路島中央SIC利用によるストック効果

洲本市では、生産用機械器具製造工場が多く立地しており、製造品の多くは神戸淡路鳴門自動車道を経て国内へ出荷されている。

平成26年に新料金となり、平成25年に淡路島中央SICの整備が決まった結果、洲本市西部では、工具保持具の開発・製造で国内50%を超えるシェアを占める大昭和精機(株)などの企業の進出が進んでおり、SIC整備によるストック効果が現れている。

■本四間の物流・交流について

淡路島中央SICの整備により

物流面：洲本市の企業誘致の取組みや淡路島中央SICの整備をきっかけとして、製造拠点が建設され、本四高速利用による物流の増加

観光面：会員制リゾートホテルの建設や市内全域のアクセス性向上などにより、本四高速利用による観光人口の増加

参考：R6本四料金値上げに対する企業の声※

現行料金で収支計算しており、値上げされると経営に痛手。
何とか現行料金を維持してもらいたい！

※洲本市への聞き取り内容を踏まえ作成

<兵庫県> 淡路島におけるパナグループの事業展開・行政支援

1. 東京から淡路島への本社機能移転

産業面

パナグループ本社機能移転

2024年5月までに
管理部門社員1200人が淡路島内に異動

本社機能移転や雇用創出を行政支援

【協議会名】

淡路島パナHQ（ヘッドクォーター）協議会

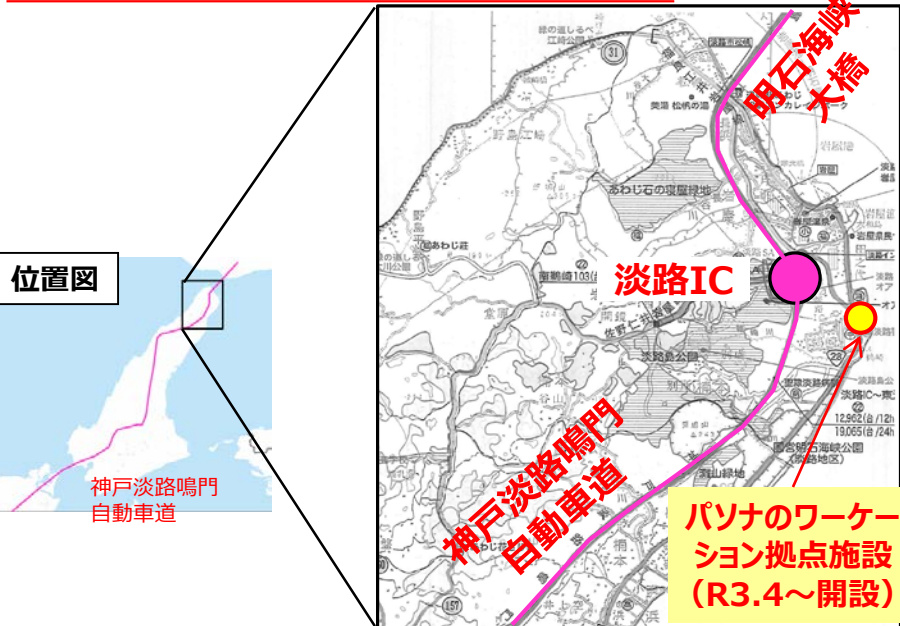
【行政メンバー】

兵庫県淡路県民局

淡路市、洲本市、南あわじ市

2. ワークेशन事業の拠点施設を開設

ワークेशन拠点施設をR3.4に開設



3. 淡路島北部西海岸への観光誘客

観光面

<施設立地状況>

パナグループ運営の観光施設等が数多く立地

<アクセス性>

従来(～R3.11)

自家用車以外でのアクセスが悪い

公共交通機関でのアクセスは、コミュニティバスのみであり、
自家用車以外の観光客の移動手段が脆弱

現在(R3.12～)

神戸⇄淡路島にバス新路線

神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線(淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行)をR3.12.1に新設

※神姫バス(株)と本四海峡バスの共同運行

※1日あたり、平日11往復、土日祝日10往復で運行

パナグループが運営する観光施設周辺にバス停留所を設置

⇒観光客等の利便性向上に寄与



<徳島県・兵庫県> 「鳴門海峡の渦潮」 世界遺産登録

鳴門海峡にうず巻く世界の奇観「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す

「鳴門海峡の渦潮」

- ◆ 渦の大きさ最大時直径約 30 mは世界最大級
- ◆ 潮流の速さ時速約 20 km
- ◆ 世界三大潮流にあげられる
- ◆ 歌川広重・葛飾北斎の浮世絵などにも描かれた

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会

- 構成団体 兵庫・徳島両県の
関係行政機関、各種関係団体、議員 等
- 設 立 平成26年12月18日
- 事業内容 世界遺産登録に向けた
調査研究・普及啓発・情報発信 等

その他の推進団体

- ・ NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
- ・ 「うず潮」の世界遺産登録を推進する淡路島議員連盟
- ・ 鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会
- ・ 世界遺産登録をめざす鳴門市議員連盟

令和4年度の事業内容

- ・ 自然遺産・文化遺産登録に向けた学術調査（海外含む）
- ・ 目指せ世界遺産！「鳴門の渦潮」ワークショップ
- ・ 鳴門海峡の渦潮ラッピングバスの運行
- ・ 普及啓発活動支援事業（地元活動への助成制度）



鳴門海峡の渦潮



ノルウェー・ノード大学との共同研究



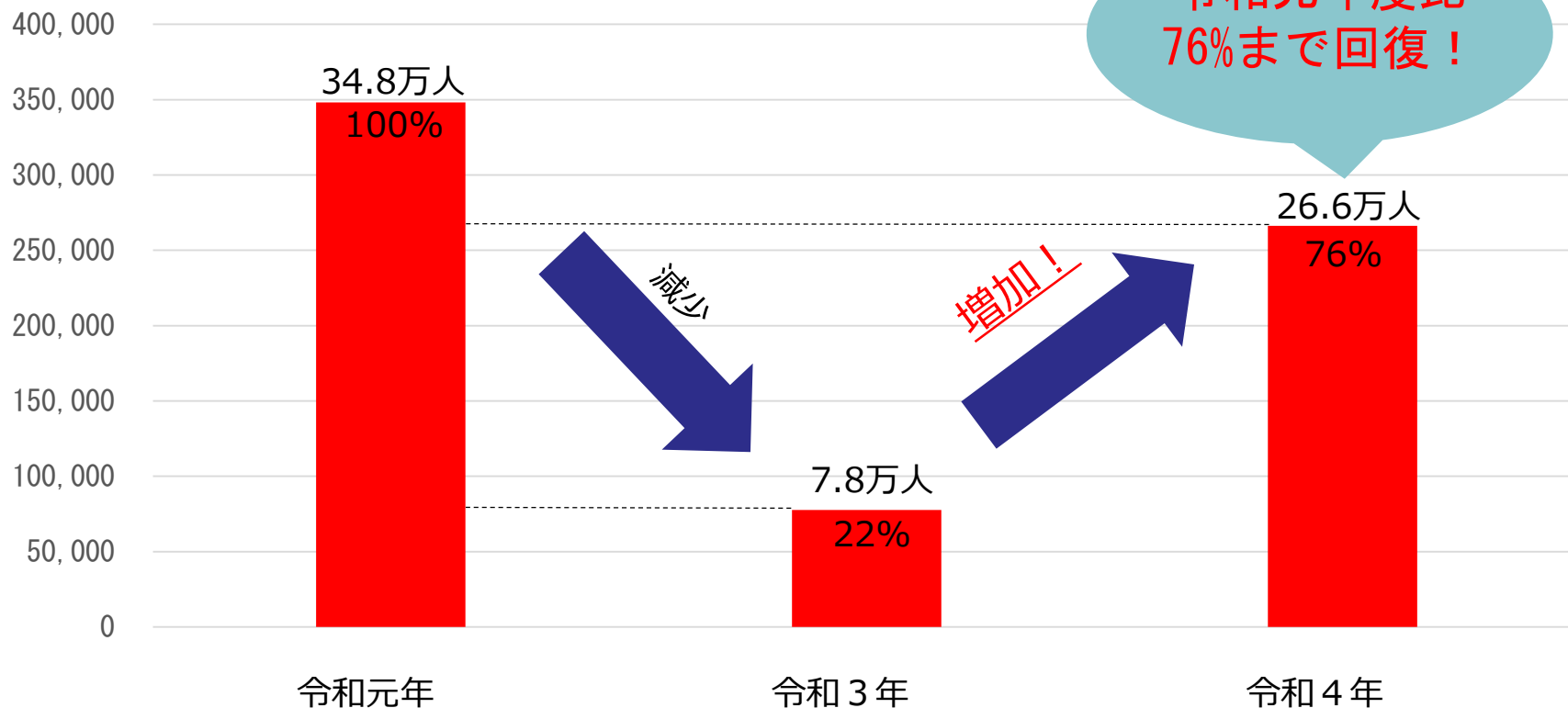
鳴門海峡の渦潮（文化）
鳴門一中油彩画作品展



「鳴門海峡の渦潮」世界遺産
PRラッピングバス運行

<兵庫県> 淡路島主要施設 GW期間の入込客数

コロナの影響により、令和3年GWは令和元年GWに比べ、主要施設への入込客数が22%に減少したものの、令和4年GWは大幅に増加し、令和元年比で76%まで回復している。



(注1) 令和2年GWはコロナの影響で淡路島の主要施設が軒並み閉鎖となったため、非掲載。

(注2) 調査施設：ウェルネスパーク五色・北淡震災記念公園・パルシェ香りの館・国営明石海峡公園
淡路ハイウェイオアシス・淡路ワールドパークONOKORO・イングランドの丘・大鳴門橋記念館
淡路人形座

<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

1. 地域資源を活かした観光振興

サイクリングアイランド淡路島の推進

淡路島内のサイクリングコース「アワイチ」での走行環境整備や受入環境の充実等を推進

[具体的な取組]

- 路肩拡幅、側溝蓋掛け等の整備、交通拠点等へ案内標識等の設置、道の駅等へ日よけ・ベンチ等の整備



【アワイチ】

首都圏等への観光誘客キャンペーンの展開【完】

従来からのコアターゲットである関西圏へのP Rに加え、**宿泊が期待できる首都圏・中京圏等への積極的なプロモーションを展開**することで観光商圈を広げ、淡路島への誘客を促進

[具体的な取組]

- YouTube やWeb バナー等での観光動画の放映



【淡路島の主な観光地】

2. 地域公共交通の充実

淡路島を訪れる観光客が利用しやすい公共交通の実現

[具体的な取組]

- 時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設
- 高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売
- 神戸三宮BTと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線をR3.12に新設【完】

3. 観光客にわかりやすい標識の整備

観光地名称を表示した標識

[具体的な取組]

- 平成30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は完了、県道志筑群家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更【完】

高速道路ナンバリング等

[具体的な取組]

- 淡路島内の県管理道路について、令和元年度までに全て完了【完】
(対象箇所34箇所)

案内の多言語化

[具体的な取組]

- 平成27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了【完】
(淡路島内シール貼対応：349枚)

<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

4. HPを活用した情報発信

兵庫県HPへのバナー掲載

〔具体的な取組〕

- 兵庫県HP及び
県観光協会HPの
トップ画面において、
「かんせと」のバナーを
掲載



【兵庫県HP】

5. 観光地における渋滞緩和

交差点改良事業の実施

〔具体的な取組〕

- 湊交差点にて、
交差点改良事業を実施・完成
【完】



【湊交差点(改良後)】

7. 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

観光客の実態調査

- 「道の駅うずしお」
→全国道の駅最強ランキング(2021.8)で全国1位
「道の駅あわじ」
→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位

トイレの洋式化

- 淡路島内の道の駅(「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」)において、いずれも洋式トイレ設置済(洋式化率は4駅全体で62%)【完】
道の駅あわじにてトイレ改修済(令和元年度)【完】

6. 瀬戸内海の「海」の魅力の発信

明石海峡大橋海上ウォークの開催

〔具体的な取組〕

- R2・R3年度は新型コロナウイルスの影響で中止
→R4年度は感染状況を見ながら実施検討



【明石海峡大橋全景】



【明石海峡大橋管理路】

フリーWiFi設置

- 淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済【完】

スタンプラリーの実施

- 令和3年度より道の駅カードを販売(県内35駅のうち30駅が参加)
→30駅全て集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。

<兵庫県>淡路島における観光需要復興に向けた取組

8. ヘルスツーリズムの推進

新型コロナウイルス感染予防など健康に対する意識が高まる中、自然豊かな淡路島において、旅をきっかけに健康になるヘルスツーリズムや、宿泊施設等を活用した仕事と観光を組み合わせたワーケーションを新たな観光として推進する。

淡路島ヘルスツーリズム推進協議会（仮称）の設立

〔具体的な取組〕

○民間事業者（観光・宿泊事業者）や行政等が連携し、ヘルスツーリズムやワーケーションに関する戦略を検討する協議会を設立する。

〔構成員（案）〕

淡路県民局、淡路島3市、淡路島観光協会、観光・宿泊事業者等

モニターツアーの開催

体験型のモニターツアーの実施

〔具体的な取組〕

○R4年夏頃に 観光施設でのヨガ体験等を実施



【水上ヨガ】

ワーケーションに関する実証事業

島外事業者に対して島内の宿泊施設や空き家等を活用した実証事業を実施する。

〔具体的な取組〕

○R4年秋頃に島内宿泊施設でのオンラインを活用した仕事体験を実施

情報プラットフォームの開設

〔具体的な取組〕

○淡路島で実施可能なヘルスツーリズムのツアーやコンテンツの紹介、ワーケーションが実施可能な施設等を情報発信するホームページを開設する。

ヘルスツーリズム認証

〔具体的な取組〕

○モニターツアー等の成果を踏まえた新たな旅行プログラムを造成し、「ヘルスツーリズム認証制度」への登録を目指す。

〔ヘルスツーリズム認証制度〕

旅の喜びとともに健康への気づきをもたらす旅行プログラムの品質を評価し、消費者が安心して効率的・合理的に事業者を選択することができるよう設けられた第三者認証制度

<兵庫県>淡路島における食文化等の発信・伝承

1. 誘客キャンペーン

心斎橋・銀座における誘客キャンペーンの実施【完】

- ・心斎橋PARCO、銀座蔦屋書店(ともに令和3年3月)において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力を広くPR
- ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施

[具体的な取組]

- 心斎橋PARCOの会場にクレーンゲーム「たまねぎキャッチャー」を設置



【たまねぎキャッチャー】

2. インバウンド対応

国内外にプロモーション動画を発信【完】

- ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を発信

[具体的な取組]

- 淡路島の豊かな自然の風景や文化を8K映像に収めたプロモーション動画を国内外に発信



Awaji Island Japan 8k
【プロモーション動画】

3. 御食国淡路島の推進

淡路島の食材を活用した海外プロモーション【完】

淡路島の食材の海外への販路拡大を目指し、御食国淡路島の推進

[具体的な取組]

- 海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘
- 台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。

4. 「淡路花博花みどりフェア」の開催

食を中心とした地域づくりの推進【完】

- ・「淡路花博花みどりフェア」において、兵庫県の食をPR

[具体的な取組]

- 「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR

※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン」を実施



【淡路花博 花みどりフェア】

観光

○利用者目線に沿ったモデルルート設定

観光情報サイト「岡山観光WEB」によりモデルコースを紹介

産業基盤の整備

○産業団地開発支援事業の創設

(市町村が行う産業団地開発事業の資金貸付制度)

アイリスオーヤマ株式会社が、瀬戸内市において計画中の市営産業団地へ立地することについて協議が調い、R3.5.11に立地表明覚書締結式を県庁で行った。

ワーケーション

○ワーケーション・プロモーションの開始

まずは1週間程度岡山に滞在することで、繰り返し岡山に関わったり、将来的な移住へとつなげていくための入り口として、「7 DAYS LIVING! OKAYAMA (7日岡山)」を実施(ホームページの開設、モニターツアーの実施等)

道の駅

○おもてなし「道の駅」トイレリニューアル事業実施

誰もが安心して快適に使用できるよう、県所管のトイレの洋式化、多言語対応表示、ベビーチェア等の改修工事を実施



岡山観光WEB
(岡山県公式
観光サイト)



立地表明覚書
締結式



「7 DAYS
LIVING!
OKAYAMA
(7日岡山)」
ホームページ

令和4年度のイベント等

○岡山デスティネーションキャンペーン（岡山DC）

自治体・観光関係者とJR6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）などが共同し一体となって作り上げる大型観光キャンペーン。

期間中、晴れの国岡山の豊かな自然、朝と夜の楽しみ方や旬のフルーツをテーマにした魅力的な企画を準備し、全国からお越しの皆様をお迎え。

キャンペーン期間 令和4年7月1日(金)～9月30日(金)



岡山DCキャンペーンホームページ

岡山の夏の魅力を満喫



蒜山スターウォッチング
(真庭市)

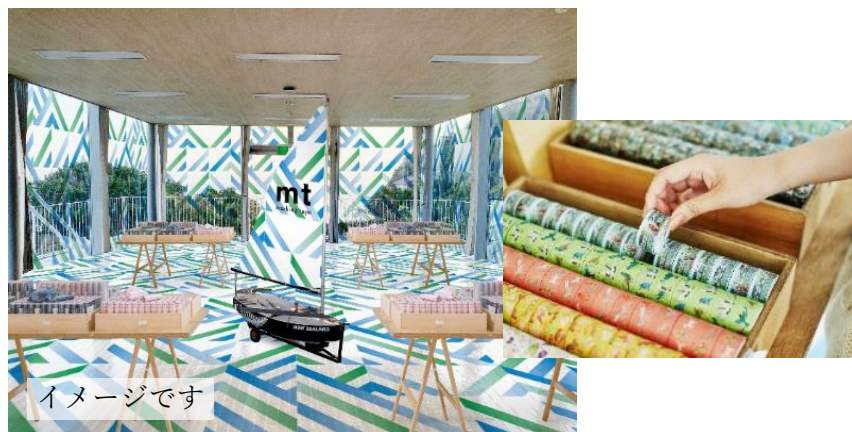


ライトアップ
(岡山市、倉敷市、津山市)



ツウになるフルーツ探訪
(岡山市)

岡山デスティネーションキャンペーン <アート>



イメージです

mt project
(岡山市、瀬戸内市)

開放的な瀬戸内海を舞台にマスキングテープ
(mt) を用いたアートプロジェクト



大原美術館プレミアムモーニングツアー
(倉敷市)

開館前の密を避けた時間に行う「モネ」を
テーマにした朝食付きの特別な鑑賞ツアー



美作三湯芸術温度との連携

アートに関心のある方へアピール

<美作三湯芸術温度>

美作三湯（※）の温泉宿にアーティストを招き、
宿の特色を踏まえた作品を制作・展示。

※美作三湯・・・県北にある西日本有数の温泉地

(湯原、湯郷、奥津)



○おかやまハレいろサイクルスタンプラリー

岡山県サイクリング推奨8ルートを活用し、県内観光地等への誘客促進と地域のにぎわいづくりを目的にスタンプラリーを実施。

観光施設などのチェックポイントに設置しているスタンプ（QRコード又はGPS）をスマートフォンで読み込み、条件をクリアした方の中から抽選で地域の特産品などをプレゼント。

開催期間 令和4年7月1日(金)～12月31日(土)



おかやまハレいろサイクルスタンプラリー特設サイト

○岡山後楽園

開園時間を延長し園内をライトアップするとともに、季節に応じた各種イベントを実施

- ・ 夜間特別開園 夏の幻想庭園

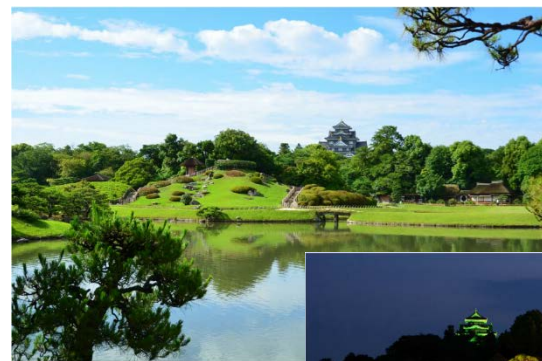
令和4年8月1日(月)～8月31日(水)

- ・ 夜間特別開園 秋の幻想庭園

令和4年11月18日(金)～11月27日(日)

* 秋の幻想庭園は、岡山城のリニューアルオープンと連携

- ・ 岡山後楽園「和の感動体験」として、狂言鑑賞や和菓子作りと茶道体験を定期的実施



夏の後楽園



秋の幻想庭園

<参考> 新型コロナウイルス感染拡大による観光面での影響

○県内の主な観光施設（30施設）の利用者数

年月	利用者数	対R3年比	対H31年比
R4.4月	621千人	137.1%	73.0%
R4.5月	733千人	216.5%	77.7%
R4.6月	408千人	186.0%	84.7%

○県内の主な宿泊施設の状況

年月		対R3年比	対H31年比
R4.4月宿泊者数	36施設※	154.3%	67.9%
R4.5月宿泊者数	38施設※	208.1%	75.0%
R4.6月宿泊者数	36施設※	199.3%	84.9%

※施設数は、県が任意で
選定した旅館・ホテルの数

* 人気スポットアクセスランキング（岡山観光WEB 2022.7.28現在）



1 倉敷美観地区



2 満奇洞



3 吹屋ふるさと村



4 鬼城山(鬼ノ城)

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果【サイクリング】

1 サイクリングによる観光振興

■ ナショナルサイクルートの指定

平成11年に全橋供用され、しまなみ海道サイクリングロードが全線開通して以来、走行環境の整備や情報発信を推進。

しまなみの多島美などの魅力的な景観に加え、これまでに整備した走行・受入環境や体制等が評価され、「ナショナルサイクルート」第1次指定において選定された。(R1.11.7)



■ サイクリングしまなみ

サイクリングしまなみは、2014年に開催した国際大会以降、4年に1度大規模大会(7,000人規模)を開催し、中間年に中規模大会を開催している。

※ 2020年の国際大会は新型コロナの影響により中止。 ※ 次は2022年10月30日(日)に国際大会を開催予定。



■ 中国地方5県のサイクリングキャンペーン

中国地方5県(鳥取・島根・岡山・広島・山口)のサイクリングマップに掲載している全62コースの周辺を訪問した際の自転車と風景の写真を投稿して参加し、各県特産品やオリジナルサイクリングウェア等が当たるキャンペーンを実施。



2 安全で快適なサイクリング環境の整備

■ ブルーラインや案内看板等の設置

自転車の走行位置の明確化と逆走を防止するとともに、自動車運転者に対して注意を促す。



ブルーライン



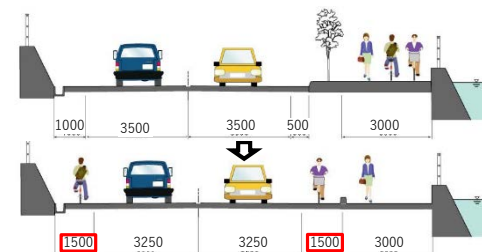
矢羽根型路面表示



ルート案内板

■ 道路空間の再配分

自転車以外の通行に必要な幅員は確保しながら、植樹帯の撤去や車線幅の縮小により、自転車が安全に通行できる空間を確保。

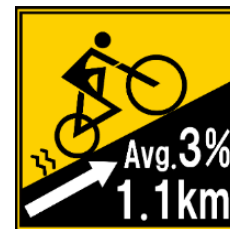


■ 急勾配注意喚起看板

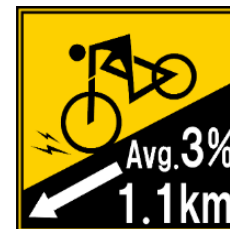
上りでは、体力や体調にあわせたサイクリングを促し、下りではスピードの抑制を促す。



▼上り勾配



▼下り勾配



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果【サイクリング】

3 しまなみ海道の自転車道無料化・情報発信

■ しまなみ海道自転車道無料化

従前は全線通行した場合に500円であった自転車通行料金を広島県・愛媛県で料金を負担し、平成26年より無料化。

なお、令和4年3月31日までであった無料化は、令和4年3月1日に令和6年3月31日まで延長することが決定。

■ 協賛企業からのスポンサー料や販売等による財源確保

広島県・愛媛県・尾道市・今治市で構成する協議会において、企業から募った協賛金や支援型自販機の売り上げの一部から頂く寄付金などを、自転車の通行料金無料化の財源として充当するとともに、サイクリスト利便性向上を目的とした環境整備（サイクルスタンド等）やマナー講座等を実施。



サイクリスト支援型自動販機



人気漫画とのコラボウェア

■ サイクリングマップ作製

- ・サイクリングルート
- ・立ち寄りスポット
- ・レンタサイクル施設
- ・休憩施設
- ・アクセス情報等を紹介



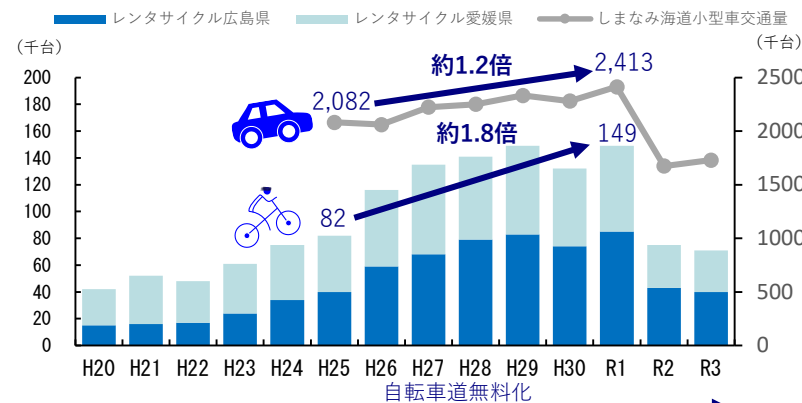
協賛ポスター



◆ コロナ前までの取組成果

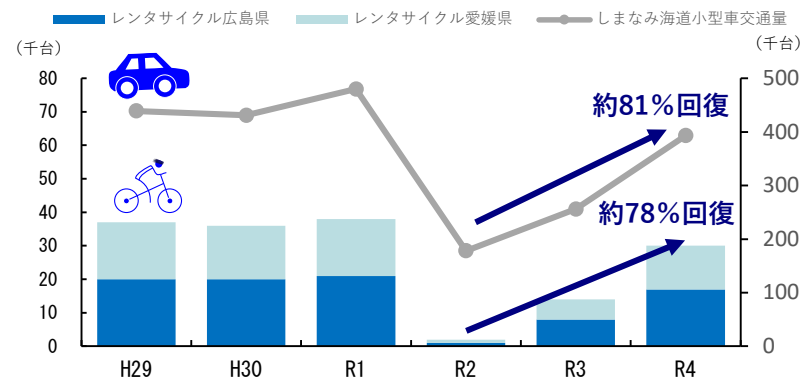
レンタサイクルの貸出台数は年々増加しており、無料化前のH25からコロナ前のR1年を比較すると、**レンタサイクル貸出台数は約1.8倍**（6.7万台増）、**しまなみ海道小型車交通量は約1.2倍**（33万台増）となっている。

また沿線の**主要観光地の入込客数は1.3倍**（48万人増）となっている。



◆ コロナ後の取組成果

ゴールデンウィークを含む4月及び5月のレンタサイクル数としまなみ海道の小型車交通量について、R4年のレンタサイクル貸出台数はコロナ前のR1年と比べて**約78%**、小型車交通量は**約81%**まで回復した。



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取り組み成果【その他】

4

観光地名称を表示した標識

国道183号の交差点において、国営公園の名称を表示した標識に改善。



5

案内の多言語化

宮島周辺道路等の主要な観光地において英語表記を適正化。



バイパスの英語表記を「By-pass」→「EXPWY」へ変更

6

高速道路ナンバリング

道路施設やストック効果など道路事業の重要性を広く周知するための資料として作成する「広島県の道路」(平成29~)をはじめとし、各種関係資料にナンバリングを記載。



7

道の駅のインバウンド対応・交流促進の取組

■ 舞ロードIC千代田

トイレの洋式化を実施。(平成30年度)

■ ふおレスト君田・舞ロード千代田・北の関宿安芸高田

サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して合同点検を実施。

8

サッカー公式試合でのパネル展示

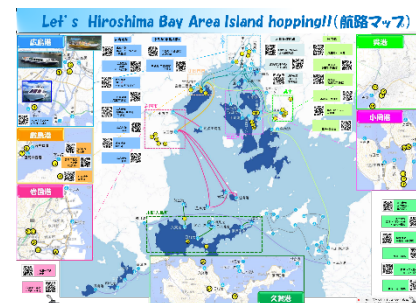
徳島県で開催されたサッカー公式試合(R3.12.4)で設置された環瀬戸のパネル展にて、広島県の「食文の発信・伝承」についてのパネル展示と観光パンフレットを配布。



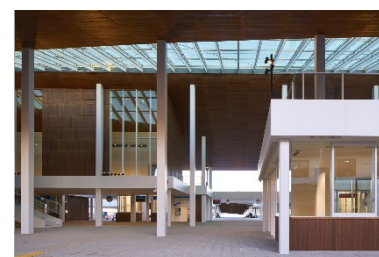
9

利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

■ 広島湾域の水上・海上交通の利活用に関する MAP作成



■ 宮島口旅客ターミナルの供用開始・観光案内所の開設



10

観光地における渋滞緩和

宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの施策を実施。

令和4年度のゴールデンウィークには、混雑回避案内などの対策として交通誘導員の配置やパーク&ライド等を実施。渋滞は発生していたものの、コロナ影響前の令和元年度から渋滞長は減少している。

このような中、令和4年度のGWは宮島の来島者が最大で約26,000人/日となり、移動制限のあった昨年度に比べ約2倍の来島者数となっている。※令和R4年度の来島者数は速報値

1 サイクリングしまなみ2022

【令和4年10月30日】

瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域（全8コース）で行われる国際サイクリング大会。

2014年に開催した国際大会以降、4年に1度大規模大会(7,000人規模)を開催し、中間年に中規模大会(3,500人規模)を開催している。

令和4年10月30日は大規模大会を開催予定。



■ 高速道路を規制して行う日本唯一のサイクリング大会

普段は自動車でしか走ることができない道路で解放感あふれるサイクリング。

■ 世界有数のサイクリングコースを使った国際的なファンライドイベント

ナショナルサイクルルートの一つ。「サイクリストの聖地」として有名。

■ 瀬戸内しまなみ海道の魅力を堪能できるコース設定

「瀬戸内しまなみ海道」の絶景や自然美を堪能できる多彩なコース。

■ 瀬戸内の島ならではの「おもてなし」

自然景観・人々の営みや歴史・文化・食べ物・島に暮らす人々の温かい心を感じる。



2 やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022

【令和4年10月9日】

尾道市をスタート地点とするやまなみ街道サイクリングコースを利用して、コース上の10の「道の駅」などをたすきでつなぐ大会規模約300人の駅伝形式のサイクリング大会。

■ エイドステーション一覧

- ①道の駅クロスロードみつぎ
- ②道の駅世羅
- ③吉倉ふるさとプラザXa104
- ④道の駅ゆめランド布野
- ⑤道の駅赤来高原
- ⑥道の駅頓原
- ⑦道の駅掛合の里
- ⑧道の駅さくらの里きすき
- ⑨道の駅湯の川
- ⑩道の駅秋鹿なぎさ公園

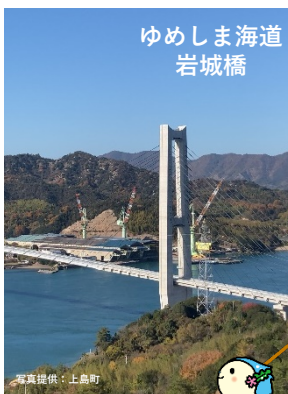
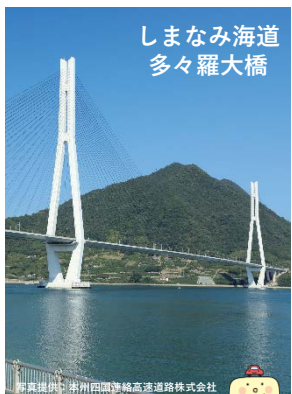


<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた今後の取組

3 しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりドライブスタンプラリー

中国5県と日本自動車連盟「JAF」が連携して実施している「ドライブスタンプラリー」において、9つの橋でつながる「瀬戸内しまなみ海道」、安芸灘大橋など7つの橋でつながる「とびしま海道」、3月に開通した岩城橋など3つの橋でつながる「ゆめしま海道」をめぐり、青い海と美しい橋が織りなす風光明媚な瀬戸内海を楽しみながら周遊する「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を実施中。

スマートフォンから簡単に参加でき、立ち寄りスポットのスタンプ数に応じて抽選で地域の特産品等が当たる。



【令和4年4月20日～令和4年12月23日】



4 しまなみ海道の自転車通行料金の無料化

【令和4年4月1日～令和6年3月31日】

平成26年度から実施しているしまなみ海道の自転車通行料金の無料化について、令和6年3月31日までの継続が決定。

5 道の駅の施設管理

- 「湖畔の里福富」にてトイレの洋式化工事を実施。
- 「よがんす白竜」「クロスロードみつぎ」「世羅」の3駅にて合同点検を実施。

6 大型クルーズ客船対応

宇品外貿において大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナル整備を実施。

<徳島県> 交流促進に係る取組成果と今後の予定 (1 / 2)

1. パネル展示、キッチンカー出動

R3.12.4 (土)

徳島県鳴門市で開催されたJリーグ公式戦

「徳島ヴォルティス vs サンフレッチェ広島」の
試合会場で「パネル展」を実施！

キッチンカーも出動！！

入場者数：8,170名

R4年度もJリーグなどのイベントに併せて実施予定



各県の食文化を紹介



阿波ふうど号 (キッチンカー) 出動

2. サイクリングによるツアー開催

サイクル・キャビン R3.11月運行開始

・乗車定員20人、積載可能台数19台

・稼働実績

R3.11.3 文化の森総合公園
「サイクリングバスツアー」

R3.11.27 海部観光による無料試乗会
R4.2.7 Plusとくしまサイクリング
発車オーライイベント

R4.3.5,6 サイクルモード大阪出展展示

R4.4.10 海部観光しまなみ海道バスツアー

・稼働予定

R4.6.5 海部観光しまなみ海道バスツアー

R4.6.19 蒲郡オレンジトライアスロン
(出展展示含む)

R4.7.17 海部観光しまなみ海道バスツアー

R4.7.24 うみがめトライアスロン

R4.11月頃 四国の右下ロードライド
(開催の場合)



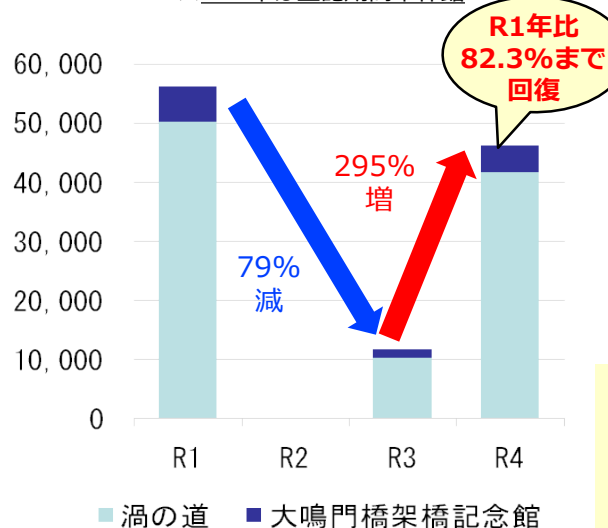
専用車両を導入



3. 大鳴門橋周辺の観光施設の入込状況

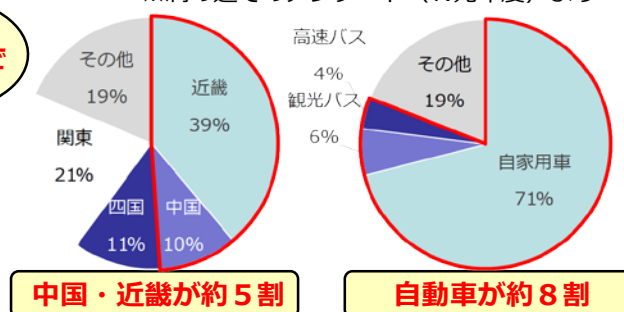
■ 入込客数の推移(5.7~6.15)

※R2年は上記期間中休館



■ 入込客の居住地・利用交通手段

※渦の道でのアンケート (R元年度) より



中国・近畿が約5割

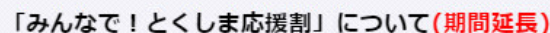
自動車が約8割

環瀬戸内海地域の交流人口拡大のためには、
交流促進に係る取組の実施に加え、
本四高速料金の現行水準維持が重要

**R3.10月からR4.2月まで
周遊観光キャンペーンを実施**



[Tweet](#)
[シェアス](#)
[LINEで送る](#)
[メールを送る](#)
[印刷](#)
 更新日：2022年7月26日更新



(1) 助成対象期間・対象地域

対象地域	対象期間
徳島県、香川県、愛媛県、高知県、鳥取県、島根県、岡山県、兵庫県、和歌山県在住者	令和4年8月31日(水)まで (令和4年9月1日(木))チェックアウト分まで
山口県在住者	令和4年8月31日(水)まで (令和4年9月1日(木))チェックアウト分まで ※令和4年8月13日(土)～16日(火)
広島県在住者	令和4年7月31日(日)まで (令和4年8月1日(月))チェックアウト分まで

[illegible]

1.誘致施策

■ハード整備

【事業名】

徳島小松島港 津田地区活性化整備事業

【概要】

徳島南部自動車道及び徳島津田ICの整備により、「陸・海・空の結節点」となる津田地区において、遊休化していた水面貯木場を埋め立て、新たな企業用地(約9.8ha)を造成

■施策・制度

【徳島県】

①補助金

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円

【徳島市】

①固定資産税・都市計画税の免除(3年間)

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円



2.誘致効果

南海トラフ巨大地震を迎え撃つ命の道となる徳島南部自動車道の徳島津田ICに隣接し、周辺地盤より約2m高く造成した安全安心な企業用地を整備

- ・ 8区画において6社と契約
- ・ 令和4年3月21日に「徳島JCT・徳島沖洲間」が開通し、全国の高規格道路ネットワークに直結
- ・ 「令和4年5月」に「企業用地の引渡し」を開始したところであり、産業・流通の拠点として大きな経済効果や新たな雇用の創出が期待できる。



■本四間の交流人口について

平成28年に策定した「徳島小松島港津田地区活性化計画」を実現する第一歩として、津田地区を企業が集積する「産業拠点」へと再生するとともに、今後、新たな賑わいを生む交流拠点が立地する「複合型先進拠点」へとさらなる発展を遂げることができるよう段階的な事業展開を図ることにより、交流人口のより一層の拡大に寄与する。

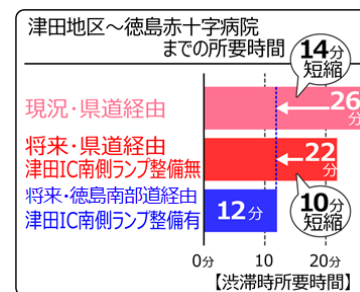
■四国横断自動車道(徳島南部自動車道)の整備促進及び徳島津田ICのフルインターチェンジ化によるストック効果

○県南地域や京阪神へのアクセス性向上による

- ・ 県外企業の新たな立地、企業間取引拡大・交流促進
- ・ 県内企業の集積、物流機能の強化・効率化

○安全安心な企業用地の確保による、地域防災力の向上

○救急搬送の定時制確保による、救命率の向上



32

<徳島県> 情報発信に係る取組成果と今後の取組

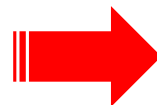
1.観光地名称を表示した標識

【取り組んだ内容】

多言語表記（4か国語）の観光地名称
を示した案内標識を設置（R3.12月）

【今後の取組】

地元自治体と連携し、引き続き整備を
検討



設置路線：(主)鳴門池田線
設置箇所：徳島県美馬市脇町



設置標識（全景）



設置標識（案内表記）

2.高速道路ナンバリング等

【取り組んだ内容】

「徳島県の道路」パンフレットの地図上の
高速道路にナンバリングを記載（R4.3月）

- 「徳島県の道路」掲載内容
(表面)道路の現況、整備効果、緊急輸送道路等
(裏面)道路地図
※県庁及び県内各庁舎にて配布



徳島県の道路 掲載地図

<香川県> 新たな目標にむけた観光連携の取組事例

インフラツーリズム

【取組概要】

- 暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木・近代化遺産、道の駅、日本風景街道等に合わせて、四国八十八箇所霊場に代表される観光施設などを巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。
- モデルコースの設定、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携し広く情報発信を行う。
- H28から香川県で試行、環瀬戸内海地域へ展開。今後は本四3橋を中心とし、民間主導のインフラツーリズムの構築を目指す。

【インフラツーリズムのイメージ】



- モデルコースの設定
- 現地マップ作成
- 協議会HP、関係機関と連携した情報発信



【インフラツーリズムに関連する取組】

- 民間主導のインフラツーリズム構築(H30～)
- 例)旅行会社の企画するツアーに、インフラ施設を組み込む



※イメージ例：
瀬戸大橋スカイツアー

【これまでの取組み】

- 環瀬戸インフラマップの作成

環瀬戸協議会HP「SETOUCHI JOURNAL」



- ・環瀬戸内海地域の各県において、ピックアップしたインフラ施設等（道路施設、土木遺産、寺社、SA・PA等）を、一つのマップ上にまとめて公開（R元年6月）

【昨年度の取組み】

県内外市町村等HPへの協議会HPのバナー掲載を依頼

R4.5月末までのインフラマップ記事へのアクセス数：9,718件

(R3.9時点から+1,662件)

(Topページ:186,489件 (R3.9時点から+30,891件))

【今年度以降の取り組み】

今後更なる情報発信を図るため、Topページからインフラマップ記事へのアクセス数の向上策等について検討。

民間主体のインフラツーリズムの取組みの構築

【取組概要】

- 旅行業者の企画するツアーに、インフラ施設を素材として組んでもらえるよう取組む。
- 観光資源となりうるインフラ施設見学の情報を行政から旅行業者へ提供し、業者が主体となって観光ツアーの企画・催行ができるよう取組む。

【これまでの取組み】

- 全国の旅行業者にインフラ施設情報をツアー素材として紹介。
- 左記の収集した施設情報を、協議会HP内のインフラマップに追記（R2年1月）



【四国内インフラ施設紹介記事（四国ツーリズム創造機構「四国観光素材集2020」）】

【インフラマップに掲載した施設情報（例：香川用水記念公園）】

【昨年度の取組み】

- 旅行業協会に対するヒアリングの実施：ツアー企画しやすい観光素材等について意見交換を実施。
- 関係機関HPにおける協議会HPのバナー掲載の協力依頼
- インフラマップの掲載情報の更新に向けた取組み（インフラ施設情報の時点修正を関係機関に依頼）

【今年度の取組み（予定）】

- 引き続き旅行業者に対するヒアリングの実施及びインフラマップ・観光素材集等の情報周知
- インフラマップの掲載情報の更新

【次年度以降の取組み（予定）】

- 旅行業者に対する説明会、ヒアリング等の開催：インフラマップ・観光素材集等の情報周知、機会を捉えた説明会の開催等
- 旅行業者の企画・催行状況のモニタリング：環瀬戸インフラマップ、四国観光素材集等に対する旅行業者の反応、インフラツアー催行状況等
- インフラマップの掲載情報の更新検討等

■瀬戸内海の「海」の魅力を発信

瀬戸内海国立公園ウォーク

【屋島ウォーク】

○1934年3月16日に「瀬戸内海国立公園」として、日本最初の国立公園の指定地となった屋島でウォーキングイベントを開催し、「世界の宝石」とも称される瀬戸内海の多島美景観を歩いて楽しみ、屋島の魅力を再発見する。

- ・主催：香川県、高松市
- ・後援：環境省中国四国地方環境事務所、四国森林管理局
- ・協力：香川県里山ボランティアガイド組合、元気YASHIMAを創ろう会
- ・実績：R3年度（R4年3月13日開催）
応募数188名（定員100名）
参加者86名
- ・次回：R4年度中に実施予定（時期未定）



(R2年度以降は県・市の広報誌およびHPで募集。画像はH31年のもの)

【かがわの自然探検ウォーク】（令和3年度まで実施）

○美しい瀬戸内海国立公園等を散策し、香川の豊かな自然について楽しく学ぶイベント。それぞれガイドが同行し、自然や見どころについて解説。

- ・主催：香川県
- ・後援：環境省中国四国地方環境事務所他
- ・協力：香川県里山ボランティアガイド組合他（後援、協力は開催場所により異なる）
- ・実績：R3年度（R3年10月31日開催）
応募数512名（定員100名）
参加者92名

【「海辺のおでかけマップ」ウォーキングツアー】

○「海のおでかけマップ」に掲載されている海岸周辺の豊かで美しい自然や歴史ある名所の風景を里海ガイドとともに楽しみ、海岸での生き物観察やマイクロプラスチック探しなどを通して海の環境について学べる見どころ満載のツアー。

- ・主催：かがわ里海大学協議会
- ・対象：小学生と保護者
- ・実績：R2年度（R2年12月6日開催）
引田港付近で開催
参加者19名（応募先着順）
※令和3年度はコロナウイルス感染症感染拡大により中止
- ・次回：R4年度は秋以降に開催予定



- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信
- 観光客の滞在・周遊を促進する事業の実施

【県内宿泊等促進事業】

- 香川県への旅行に対する助成を行うとともに、土産物店、観光施設等で利用可能なクーポン券を発行。
- 県内の感染状況や国の制度見直しを踏まえ、利用期間の延長、対象地域の拡大を実施。



【デジタルマーケティング観光誘客推進事業】

- デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信などを実施し、閲覧者の興味や関心、ニーズを踏まえた効果的な情報発信により、誘客促進をはかる。



【宿泊施設受入環境整備支援】

(事業対象期間 R2年5月14日～R4年1月31日)

- 宿泊事業者が行う、感染拡大予防ガイドラインに対応するための備品等の購入や、受入環境の整備、コンテンツ開発など 新たな需要創出のための経費の一部を補助。
- 令和3年度(R3.8.18～R4.3.31)交付件数：延べ379件

新しい観光スタイルを推進

- 新しい観光スタイルを推進するため、OTA（オンライントラベルエージェント）と連携し、地域資源を活用した体験コンテンツを盛り込んだ商品を造成し、販売を強化。

【ご当地体験trip（コンテンツ事業）】

- アウトドアや食、アートなど、様々な体験ができるコンテンツを販売。
- マイクロツーリズムや、アウトドア・アクティビティなど、「新しいニーズ」に対応する体験コンテンツを造成し、誘客をはかる。



<コンテンツ例>

さぬきのり染め MYバッグ作り体験

香川の伝統工芸「讃岐のり染」という手法で作るMYバッグ作り体験。



<コンテンツ例>

カーネーションBOX アレンジメント体験

カーネーション専門農家で行うアートな体験。アーティストになった気分ですらわーボックスを色とりどりのカーネーションでアレンジ。



■ 産業基盤の整備

【香川県企業誘致助成制度】

○投下固定資産額や新規常用雇用者数などの要件を満たす**工場、試験研究施設、物流拠点施設、情報処理関連施設、地方拠点強化施設**について助成を行い、企業誘致を促進。

【ワンストップサービス窓口】

○企業が香川県に立地する際に、工場用地や優遇制度などの各種情報提供や、立地後の操業上の課題などへの対応について、関係機関と連携を取りながら迅速かつ的確にサポートするための窓口を開設。

誘致事例 ～香川県坂出市番の州臨海工業団地の分譲～

香川県番の州臨海工業団地の残る約17haの未分譲地に、3社（ショーワグローブ(株)、(株)ハローズ、竜王金属(株)）による生産・物流拠点施設の立地が決定。これまでの総分譲面積は約505haで、企業数は大型工場や流通関係企業等あわせて42社。

<誘致効果>

- **投資・雇用面** 立地する3社の投資効果として、土地代に建物・機械設備費等を加えた**総投資額が約200億円**になり、3社による設備増設後も含めた雇用計画では、新たに**約370人の雇用**が創出される見込み。
- **産業インフラ面** これら拠点整備に伴い、工業用水や電気、ガスなどのインフラ面における大きな需要が見込まれ、3社で**年間30億円超の使用量**が見込まれる。
- **本四間の交流** 県外に本社を置くショーワグローブ(株)（兵庫県）と(株)ハローズ（広島県）の生産・物流拠点施設が整備されることにより、**本州・四国間での物流が活発化することが期待される。**



■ サテライトオフィス等の取組

【サテライトオフィス開設等への支援】

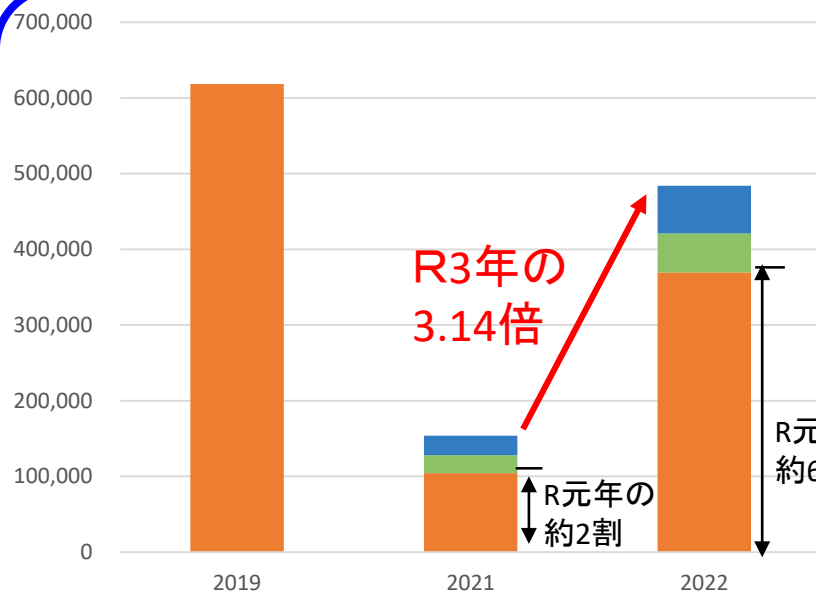
○新しい生活様式や働き方の浸透、地方移住への関心の高まりを踏まえ、**県外から県内への企業の誘致及び移住の促進を図る**ため、香川でのサテライトオフィス等の開設を支援。

<支援概要>

- ① **サテライトオフィス**を開設する**県外事業者**に対して、**経費を補助**
- ② **事業所**として取得した**空き家**の改修費等に対して、**県内市町**が**補助**
- ③ **サテライトオフィス**の**拠点**を整備する**事業者**に対して**経費を補助**

<香川県> 令和4年ゴールデンウィーク期間中の県内主要観光地の観光客の状況

- 令和4年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染症の第4波により東京都や大阪府に緊急事態宣言が発令されていた令和3年の3.14倍に増加
- 新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比較すると、約6割の水準まで回復した（令和元年度に調査が無かった父母ヶ浜・四国水族館は除く）



【4大観光地施設】:			195,052人(対R3年+127,196人、187.4%増)
栗林公園	27,304人	(同+22,375人、453.9%増)	
屋島	26,514人	(同+12,533人、89.6%増)	
金刀比羅宮参道口	98,435人	(同+64,844人、193.0%増)	
小豆島(寒霞溪ロープウェイ)	12,744人	(同+7,871人、161.5%増)	
小豆島(二十四の瞳映画村)	9,953人	(同+6,130人、160.3%増)	
小豆島(オリーブ公園)	20,102人	(同+13,443人、201.9%増)	

【主要レジャー施設】:			174,471人(対R3年+137,784人、375.6%増)
県立東山魁夷せとうち美術館	3,533人	(同+3,050人、631.5%増)	
ニューレオマワールド	53,564人	(同+38,186人、248.3%増)	
国営讃岐まんのう公園	39,096人	(同+28,764人、278.4%増)	
直島地中美術館	6,811人	(同+2,522人、58.8%増)	
玉藻公園	24,184人	(同+21,725人、883.5%増)	
瀬戸大橋記念館	11,608人	(同+10,066人、652.8%増)	
県立ミュージアム	3,775人	(同+3,071人、436.2%増)	
さぬきこどもの国	31,900人	(同+30,400人、2,026.7%増)	

■ 4大観光地施設 + 主要レジャー施設
 ■ 父母ヶ浜
 ■ 四国水族館
 ※2020年は調査を実施していない
 ※父母ヶ浜、四国水族館については2021年から調査を開始

■ 令和3年のゴールデンウィークから増加した要因

- ① 昨年(令和3年)は、東京、大阪などに緊急事態宣言が発令されており、本県でも感染拡大防止集中対策期間中であつたため、集客施設等への来場には慎重な検討をお願いしていた。
- ② 昨年は、県有の6施設（栗林公園、さぬきこどもの国、県立ミュージアム、県立東山魁夷せとうち美術館、瀬戸大橋記念館、瀬戸内海歴史民俗資料館）において、5月3日（月・祝）から臨時休園・休館の対応を行っていた。

瀬戸内国際芸術祭 2022

瀬戸内国際芸術祭は、2010年にスタートした瀬戸内海の美しい島々を舞台とした現代アートの祭典です。3年に1度のトリエンナーレ形式で開催しており、今回は5回目の開催です。

4月14日から、直島や豊島、小豆島など瀬戸内の12の島と高松港、宇野港周辺を会場に、春・夏・秋の各会期あわせて105日間の日程で開催しています。

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」と「島の元気」をテーマに掲げ、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指して、開催しています。

【主催】

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

【会期】

春会期 4月14日 ～ 5月18日
夏会期 8月 5日 ～ 9月 4日
秋会期 9月29日 ～ 11月 6日

【会場】

直島 / 豊島 / 女木島 / 男木島
小豆島 / 大島 / 犬島
沙弥島 [春のみ] / 本島 [秋のみ]
高見島 [秋のみ] / 栗島 [秋のみ]
伊吹島 [秋のみ]
高松港周辺 / 宇野港周辺



瀬戸内国際芸術祭2022春会期の様子(女木島)
Photo: Shintaro Miyawaki



切腹ピストルズ「せっぽくぴすとるず瀬戸内神出鬼没」(高松港周辺)



眞壁陸二「漣の家」(男木島)
Photo: KIOKU Keizo



ヘザー・B・スワン+ノンダ・カサリディス
「海を夢見る人々の場所」(豊島)
Photo: KIOKU Keizo



瀬戸内国際芸術祭2022 Setouchi Triennale 2022

春会期:4月14日|木-5月18日|水 夏会期:8月5日|金-9月4日|日 秋会期:9月29日|木-11月6日|日
Spring: Apr 14th|Tue- May 18th|Wed Summer: Aug 5th|Fri-Sep 4th|Sun Autumn: Sep 29th|Tue-Nov 6th|Sun

会場:瀬戸内海の12の島・高松港・宇野港 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、伊吹島、高松港、宇野港
実行委員会:瀬戸内国際芸術祭実行委員会
協賛:香川県、高松市、豊島町、直島町、女木島町、男木島町、小豆島町、大島町、伊吹町、高松市、宇野港
問い合わせ:087-821-1111 (香川県観光課) 087-821-1112 (高松市観光課) 087-821-1113 (豊島町観光課) 087-821-1114 (直島町観光課) 087-821-1115 (女木島町観光課) 087-821-1116 (男木島町観光課) 087-821-1117 (小豆島町観光課) 087-821-1118 (大島町観光課) 087-821-1119 (伊吹町観光課) 087-821-1120 (高松市観光課) 087-821-1121 (宇野港観光課)

<愛媛県> しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取組みについて

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の策定

愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン
10年後のしまなみエリアの
目指すべき姿



- 策定年月：2021年3月
- 推進期間：2021～2030年度までの10年間
- ビジョンの概要：

しまなみ海道エリアの魅力を更に向上させるため、“目指すべき10年後の姿”を描き、県・市町、DMO、事業者等が、方針や政策を共有・実践するための基本となるもの。

→「しまなみ海道エリア」がサイクルツーリズムを中心とした世界ブランドとしての認知を獲得し、“地域が人を呼び、人が人を呼ぶ”好循環を生み出すエリアへの発展に向けた取組みの方針・政策



- ◆3つの方針
「誘客拡大・高付加価値化」
「誘客効果の波及・経済活性化」
「継続的な地域振興」
- ◆4つの政策
「戦略的・政策横断的な振興政策」
「観光産業集積・地域経済活性化に向けた政策」
「持続可能なエリア振興と環境保全の両立」
「エリアマネジメント組織の形成」

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の実現に向けた主な取組み



～3年度 サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等支援

しまなみ海道エリアのキラーコンテンツである「サイクリング」と組み合わせる楽しみ地域資源やアクティビティを生かした体験型コンテンツの造成等を支援

≪2・3年度の造成コンテンツ例≫

- サイクリングと来島海峡大橋桁外作業車体験&登頂ツアー
- 海あり！山あり！BBQあり！無人島満喫ツアー
- そのほか、サンセットシーカヤック、ヨットクルーズなど 32コンテンツ

「販売体制の支援」にも注力

- ◇旅行会社・インバウンド向けFAMツアー：4回実施
- ◇専門家向けツアー：2回実施
- ◇商談会：国内5者、国外11者×県内約30者の間で実施

4年度 サイクルツーリズムのコーディネート機能の強化

- 体験型コンテンツの更なる造成・ブラッシュアップ
- 広域サイクルツーリズム商品の造成、モニターツアーの実施
- 「予約システム」ツールの導入・運用（窓口機能の強化、持続的な販売）
- 事業者間の連携・ネットワーク化（販売促進の核となる組織の構築）

「サイクリングしまなみ2022」の開催

- 開催日：令和4年10月30日（日）
 - 定員：7,000人程度の大規模大会
 - コース：全8コース（30～140km）
- “サイクリストの聖地＝しまなみ海道”を
広く国内外に情報発信



「広域サイクルツーリズム圏域」の形成

「来島海峡大橋」を中心とする
半径50kmの本県エリア

「グレーターしまなみ・えひめ」圏域を形成
→ 圏域における周遊促進・長期滞在化

※国、自治体、本四高速、民間団体等
実施主体となる「協議会」を構成

≪4年度の主な取組み≫

- 「サイクリング周遊ルート」の設定
- 受入環境整備の拡充
(レンタサイクル広域乗捨て・手荷物当日配送等)

「姉妹橋協定」の締結

サイクリングを核とした
継続的な「地域間交流」の推進

しまなみ海道を象徴する
「来島海峡大橋」

協定締結

サイクルツーリズムが盛んで
自転車が行き来可能な
「欧米豪の著名な橋」

<愛媛県> えひめ南予きずな博の開催

- ◆名 称 えひめ南予きずな博
- ◆テ ー マ つながるきずな、ひろがるいやし
- ◆開催期間 令和4年4月24日～12月25日
- ◆主 催 えひめ南予きずな博実行委員会（愛媛県、南予9市町などで構成）
- ◆コンセプト 南予から発信する「えひめシフト!!」



シンボルマーク



- ・9つの矢印は、地域外から復興支援に対しての感謝を表す外向きに広がっていくイメージ（＝きずな）と、南予に向かって人々が集まってくることを表す内向きのイメージ（＝えひめシフト）を表現。
- ・マーク中央に形作られる「花」は、内外の人々のつながりでできる「きずな」と、南予での新しい取り組みで生まれる「次の時代の可能性」を象徴。

3年度 体制等整備フェーズ

おもてなし事業【体制づくり】

受入体制の構築による実需創出

広域周遊

宿泊推進

資源活用

つながり事業【仕組みづくり】

地域課題解決を通した新しい絆づくり

ヒトの
つながり

モノの
つながり

協賛応援

広報プロモーションの強化

4年度 プロモーションフェーズ

R 3 実施事業の伴走型支援

R 4 延期事業実施（体制構築）

地域の元気応援事業【イベント】

復興応援と支援への感謝

オープニング

シンボル
（西予市）

シンボル
（大洲市）

シンボル
（宇和島市）

クロージング

連携イベント（市町ほか）

R 4 延期事業実施（仕組み構築）

R 3 実施事業の伴走型支援

5年度

（構築した受入体制・仕組みの活用）

事業者の自走

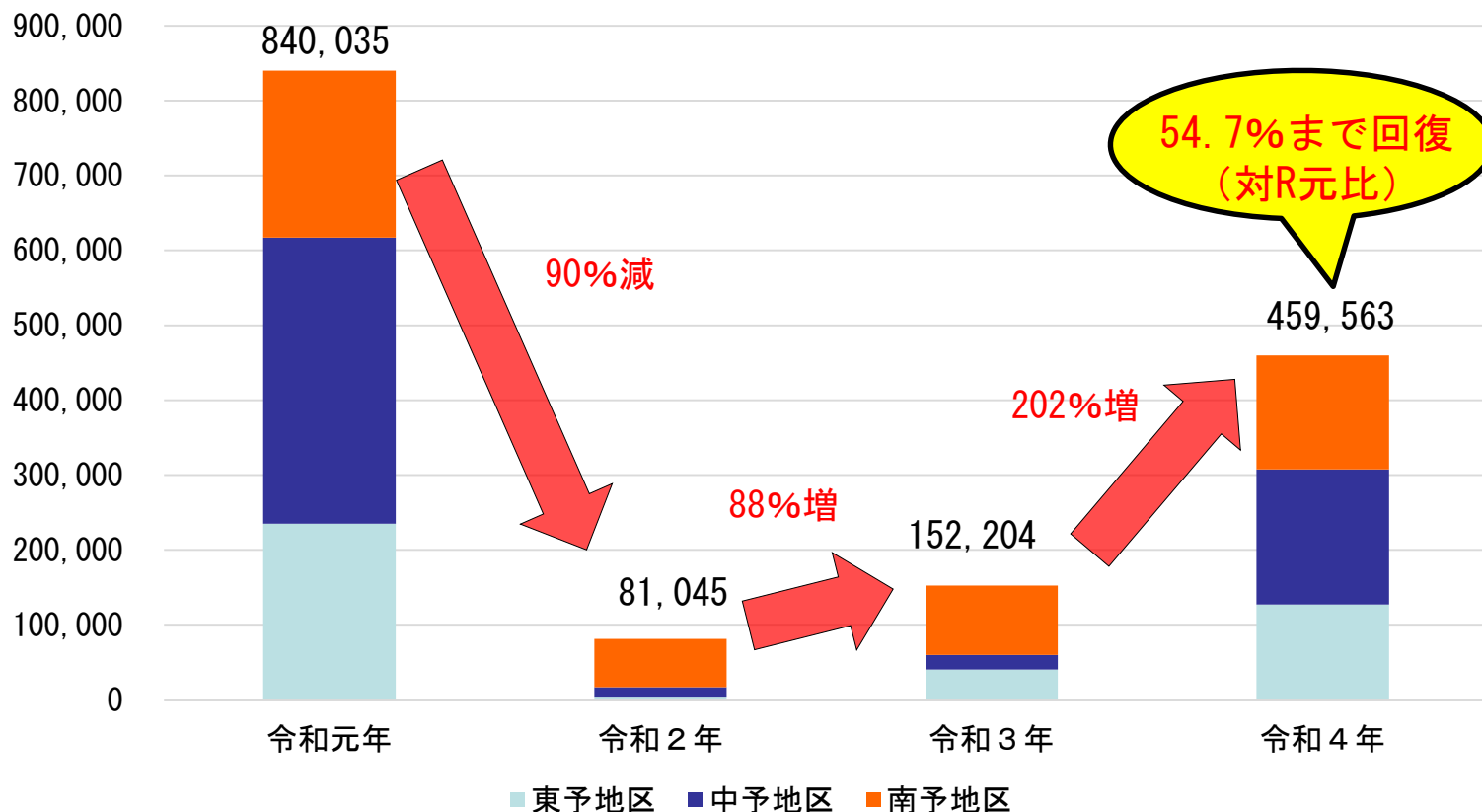
持続可能な「いやしの南予」の確立

■愛媛県内全体の概況

今年のゴールデンウィーク期間は、3年ぶりに行動制限のない大型連休となり(3連休が2回、うち平日2日)、統計をとった主要観光施設26施設でコロナの影響で休業となった施設はなく、全体の入込客数は、459,563人で、コロナ前の2019年(初の10連休)比較で、54.7%まで回復。

なお、南予地方の入込客数はえひめ南予きずな博などの効果もあり152,103人(2019年比68.2%)と3エリアの中で最も2019年比で高い数値。

GW期間中の主要観光地入込客数



1. 現状と目的

愛媛県は、東・中・南予の地域ごとに多様な産業が集積している地域特性を活かしながら、製造業を中心に企業誘致の取組みを進めているが、平坦部が少ないため**大規模用地の不足が顕在化**しており、企業の誘致及び流出防止に向けた**産業用地の確保が喫緊の課題**となっている。

そこで企業ニーズに合致する用地を確保し、**企業の新拠点整備による地域経済の活性化と雇用増加**を図るため、**市町が実施する産業用地開発に向けた調査事業への補助制度**をR2年度に創設し、県・市町が連携した誘致活動に取り組んでいる。

2. 事業内容

■ 産業用地可能性調査事業（R2年度～）

産業用地開発に向けて市町が行う各種調査に対する支援

項 目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
企業ニーズ等の検証	委託料	1/2	500万円 ※100万円から 引き上げ(R4年度～)	(R2年度) 大洲市
地権者調査				東温市
地盤調査 等				(R3年度) 西予市 松前町

■ 産業用地整備促進事業（R4年度～）

産業用地開発に付随して市町が実施する公共基盤施設の整備に対する支援

項 目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
・ 道路 ・ 排水施設 ・ 公園・緑地 等	委託料 工事費 用地取得費	1/2	1 億円	—

高知城
(高知県)

取組概要

○高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」では、大自然を体感するアクティビティをはじめ、地元の人とふれあいながら楽しむことができる体験をしたり、幕末から明治維新の歴史文化探訪で偉人たちの足跡を辿りながら本物の資料を鑑賞したり、大自然の恵みを存分に受けた食資源に舌鼓を打ったりと、訪れる人それぞれが魅力的な新しい休日を堪能することができる。

■リョーマ(RYOMA)の休日とは

Roman(ロマン)

テーマ: 歴史や自然から土佐のパワーを感じる

室戸世界ジオパーク



- 歴史文化施設の企画展
(歴史民俗資料館や坂本龍馬記念館の30周年特別企画等)
- ジオパークをめぐるガイドツアー
(室戸世界ジオパーク、土佐清水ジオパーク)

Yasuragi(やすらぎ)

テーマ: 自然の優しさが癒しの時間をくれる

ワーケーションキックオフイベント



- 清流での渓流ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 大自然のもとでのワーケーション
(室戸市、土佐清水市)
- 穏やかな海辺や川のほとりでのキャンプ

Oishii(おいしい)

テーマ: 絶対の自信! 土佐の幸を食べつくす

カツオのたたき



- 「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキングにおいて11年間で6度の日本一に輝いた自慢の食文化
(カツオのたたき、生産量日本一のゆずやしょうが)

Manabi(学び)

テーマ: 世界が認めた自然遺産・文化に学ぶ

県立・足摺海洋館「SATOUMI」



- 海と自然のアドベンチャーミュージアム
足摺海洋館「SATOUMI」
- 日本遺産認定の中芸森林鉄道
- 世界にも通用する四国遍路
- 高知ならではの伝統文化体験

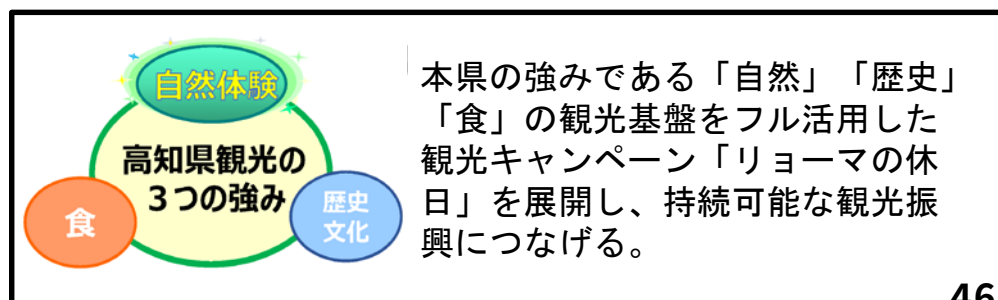
Active(アクティブ)

テーマ: 土佐の自然と全身でたわむれる

四万十川カヌー体験



- 高知の自然とたわむれるアクティビティ
(カヌー、ダイビング、ジップライン等)
- 清流での渓谷ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 山、川、海の絶景ドライブ

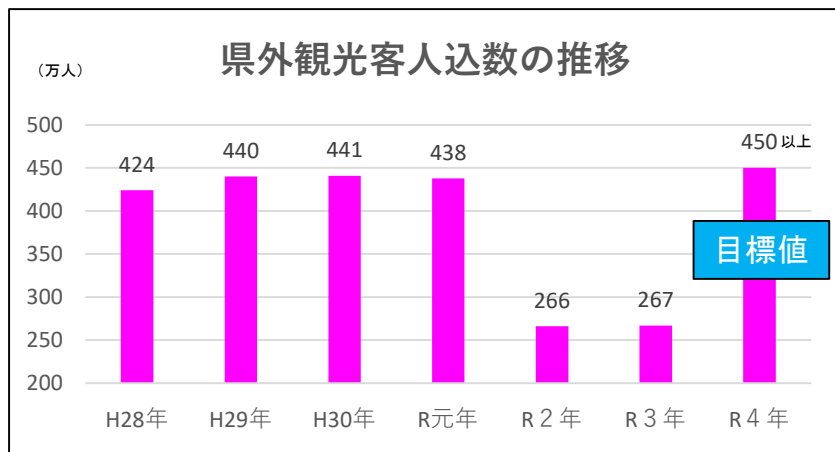


～今後の取組～

昌地区周辺エリア
の周辺エリア

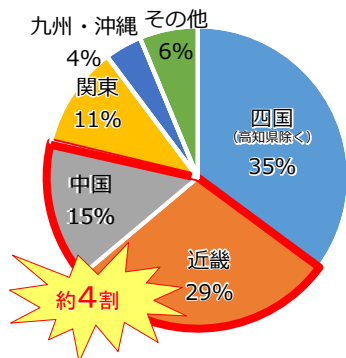
47

■ 県外観光客入込数の推移



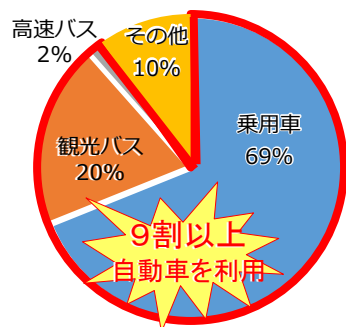
※出典：R3県外観光客入込・動態調査報告書（速報値）
第4期産業振興計画ver.3

■ 発地ブロック別入込割合



※出典：R2年県外観光客入込・動態調査報告書

■ 県外観光客の利用交通機関割合



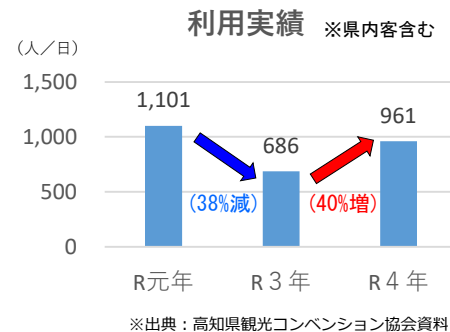
※出典：R2年県外観光客入込・動態調査報告書

- ・県外観光客の約4割が中国・近畿地方であり、**環瀬戸内海地域間の交流が促進**。
- ・県外観光客の**9割以上が自動車を利用**。
- ・交流人口のさらなる拡大には、**本四高速の現行料金水準維持**が重要。

■ ゴールデンウィーク期間における主要観光施設利用状況

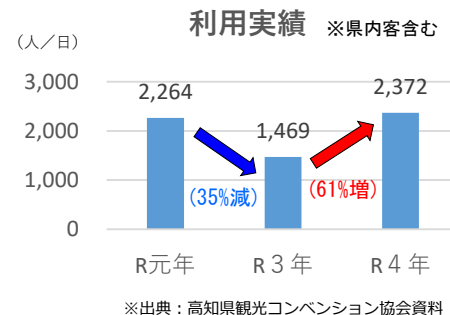
○ 北川村「モネの庭」マルモッタン

R2年5月「ボルディゲラの庭」新設



- ・フランスの画家、クロード・モネが愛した、フランス・ジヴェルニーの庭をモデルとして平成12年4月に開園。
- ・本場フランスのクロード・モネ財団より、世界で唯一「モネの庭」と名乗ることが許されている庭園。
- ・R4GW期間中の利用者はコロナ前(R元)と比べ87%まで回復。

○ 高知県立のいち動物公園



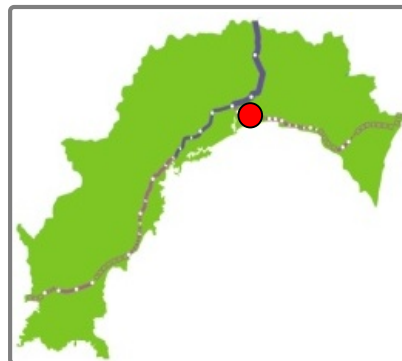
- ・広々とした自然に近い公園の中で動物たちとの触れ合いの時間を提供。
- ・公園内では、動物たちの生息地に近い環境を再現し、約110種類、1500頭の動物に出会える。
- ・R4GW期間中の施設利用者はコロナ前(R元)以上に回復。

1.施策

【名称】なんごく流通団地

【概要】

- ・所在地：高知県南国市三和琴平
- ・総面積：約29.1ha
- ・分譲面積：約19.2ha
- ・区画数：46区画
- ・対象業種：流通業（運輸業、倉庫業、卸売業及び流通加工業）
- ・分譲状況：完売（リース含む）



2.誘致効果

○企業数 25社

主な誘致企業

- ・日本通運株式会社 高知支店（輸送業）
- ・四国名鉄運輸株式会社 高知支店（輸送業）
- ・株式会社朝日通商 高知営業所（流通加工業）
- ・土佐倉庫株式会社（倉庫業）
- ・株式会社精工 高知工場（製造業）
- ・株式会社ヨコハマタイヤジャパン 高知営業所（卸売業）

○雇用従業員数 約950人

■本四間の交流について

高知新港や高知龍馬空港、高知東部自動車道のなんごく南ICの近接に整備。大手運送会社や流通加工業を中心とした企業が立地しており、物流を中心とした本州・四国間の交流促進に貢献している。



高速道路へのアクセス

- ・高知東部自動車道 なんごく南ICまで約5Km（車で8分）
- ・高知自動車道 南国ICまで約13km（車で20分）

1.誘致施策

【名称】高知新港高台用地

【概要】

- ・所在地： 高知県高知市仁井田
- ・対象面積：約27,800m²
- ・対象業種：製造業、流通業、
食品加工業等

【優遇制度】

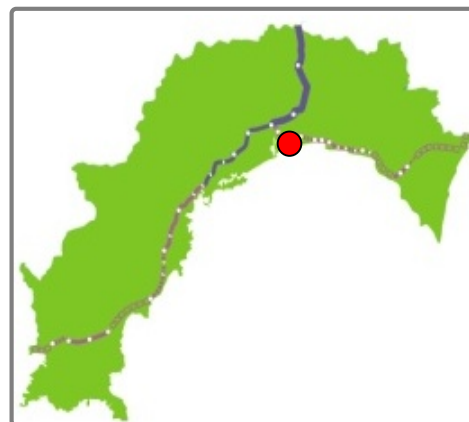
- ・高知県
企業立地補助制度
- ・高知市
土地及び設備投資に対する助成

2.誘致効果

想定最大クラスの津波でも浸水しない臨海型企業用地であり、製造業や流通業等を対象に分譲又は賃貸借が予定されることから、港を利用した産業振興や新たな雇用の創出等が見込まれる。

■本四間の交流について

高知東部自動車道の高知南ICから約3kmの高知新港の近接に整備。第1期公募地においては、令和3年に運送業者と分譲契約が締結され、現在操業開始に向け準備中である。また、操業開始後1年以内に新規雇用30名を予定しており、物流を中心とした本州・四国間の交流促進が期待される。



高速道路へのアクセス

- ・高知東部自動車道 高知南ICまで約3Km(車で4分)

<本四高速> 地域連携の取り組みについての成果と今後の取り組み

1. インフラツアーの更なる推進

(1) インフラツアー

長大橋を活用した瀬戸内地域の魅力発信や地域活性化を目的として、個人・団体を対象とした明石海峡大橋の“ブリッジワールド”、瀬戸大橋の“スカイツアー”等を実施。

旅行会社主催ツアーとともに、4月23日より、明石海峡大橋及び瀬戸大橋において、個人募集型のツアーを3年ぶりに再開。6月末時点で昨年度開催実績の約1.7倍(80回→135回)増加。



明石海峡大橋ブリッジワールド

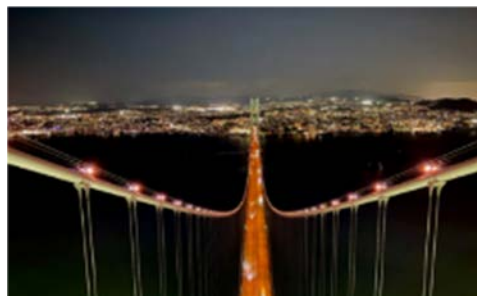


瀬戸大橋スカイツアー

2022年度開催実績 (6月末時点)	
ツアー開催回数	135回
一橋別内訳	
明石海峡大橋	69回
瀬戸大橋	60回
その他	6回

(2) 企画提案型ツアー

地域活性化を向上を目的とし、ナイトツアーやアンカレイジツアーなど、インフラツアーの新たな魅力創出のためにモニターツアーを実施。また、瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施するため、企画提案型ツアーを10、11月で実施予定。



明石海峡大橋ナイトツアー



瀬戸大橋アンカレイジツアー

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

(1) 魅力発見キャンペーン

SA・PAにおいて「せとうち魅力発見キャンペーン」を4/2(土)からスタート。「せとうち春のスイーツバトル」のスイーツフェアには、2日間で約4,800人を集客。

7/1(金)からは「せとうち麺フェスタ」を開催。11月には「丼物」をテーマとしたイベントを企画。



与島PA麺マルシェ



与島PAうどん体験教室



せとうち麺フェスタ
チラシ

(2) 「地域マルシェ」等の開催

9月には焼き物(丹波焼、備前焼、砥部焼等)など、地域の特産品をSA・PAで販売するイベント、また、10月には沿線地域の商工会議所や農協・漁協、観光協会や青年会議所等各種団体や企業等と連携した、「せとうちマルシェ」の開催を予定。



砥部焼即売会



中国四国農政局と連携した情報
発信・特産品販売



せとうち焼きもの
チラシ

<本四高速> 地域連携の取り組みについての成果と今後の取り組み

3. 島旅の活性化

(1) 瀬戸内島旅活性化研究会

行政、観光関係者、島民等が参加する「瀬戸内島旅活性化研究会」を7月4日開催し、塩飽諸島の地域資源を活かした島々の周遊ツアーの造成に取り組むこととし、ツアー造成に向けたファミツアーを実施。



瀬戸内島旅活性化研究会



アクティブシニアツアー
(4/23,24)



親子ファミツアー
(5/28,29)

(2) せとうち島旅フェス

「せとうち島旅フェス2022」(5/14・15)を与島PAで開催。2日間で約15,000名の立寄があり、葉加瀬太郎氏のミニライブでは、約600人がステージ前に集まるなど、大変多くのお客様にご来場いただいた。



ステージ前の様子

(3) せとうち島塾

さぬき広島において、クリーンウォーク(登山道清掃)・ビーチコーミング(海ごみ調査)等を通じて島の方々と交流し、SDGsの取組を行う「せとうち島塾」(5/16,17)を開講。第2回10月、第3回11月に開講予定。



クリーンウォーク

ビーチコーミング

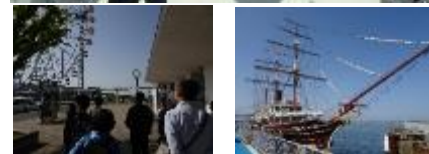


4. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

2008年に6施設でスタートし、現在81施設の瀬戸内地域に存する美術館・博物館ネットワークのつながりを深化・発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献。

(1) ネットワークの新たな展開

参加施設の特別展・企画展のチラシ・ポスターと本四高速の地域連携の取組を紹介したタブロイドペーパー「せとうちアート通信」を新たに発行(4/27)。また、参加施設担当者等を対象に塔頂体験ツアー、SA・PA施設、クルーズ等を組み合わせたモニターツアー(4月、5月)を実施。



明石海峡塔頂体験&淡路SA&クルーズ



29館の特別展等を掲載したタブロイド紙

(2) せとうち美術館サミット

「せとうち美術館サミット」を11月に開催予定。今年度は岡山市芸術祭とも連携し、9月、10月に特別講演会を開催予定。



せとうち美術館サミット

5. 瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進（協議会の設立とサミットの開催）

(1) Setouchi Velo協議会の設立

瀬戸内地域を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内地域周辺のブランド価値の向上による持続的な地域振興を実現することを目的とし、「Setouchi Velo協議会」を10月29日設立予定。

(2) サミットの開催

国、地方公共団体等の長、地域経済団体トップ等による「Setouchi Veloサミット」を10月29日に開催予定。サミットでは「しまなみ宣言」を採択、終了後、サミットライド（サイクリングによる来島海峡大橋主塔（サミット）塔頂体験ツアー）を実施。大阪・関西万博（2025年）での国内外からの瀬戸内周辺地域への誘客を目指し、情報発信を行う。

① 協議会設立準備会の開催（Web会議）

協議会の設立に向けて、事務局として四国地方整備局と、4回の設立準備会を開催。設立準備会では協議会の体制及び活動計画等について議論された。



開催実績
第1回 2月16日
第2回 3月25日
第3回 5月10日
第4回 8月1日

② トライアルライドの実施

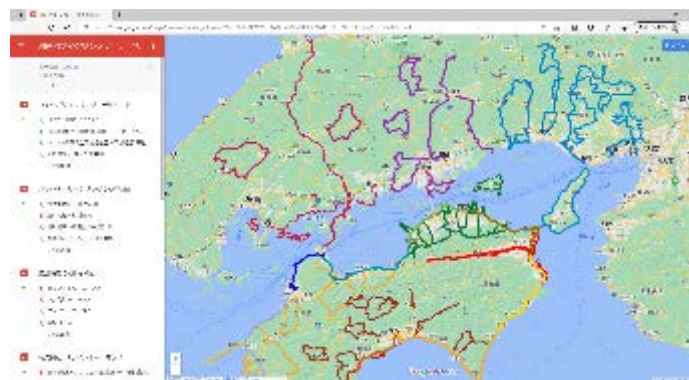
各県のSetouchi Velo担当者と、サイクリングの有識者等が、一緒にサイクリングコースを試走しハード面、ソフト面のポイントをチェックするとともに、e-bike（電動自転車）の走行体験を実施する。（7/28、29でテストラン実施）



③ マッピング

瀬戸内地域それぞれに存する多数のサイクリングルートを「Setouchi Veloルート」としてネットワーク化することで、行政境界に拘らず、瀬戸内地域を広域に連携したひとつのサイクリングエリアにしていくことを目指します。

10/29 第1次ルート、2023年3月には第2次ルートを発表予定。



各県のサイクリングコースについてグーグルマップ上に、マッピングし、各コース、クリックすることで詳細が表示されます。

<NEXCO西日本> 観光振興に向けた取組み（ドライブパス）

- 観光振興を通じた地域社会の活性化を目的に、指定エリア内の走行が定額で利用できる企画割引を実施。
- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている西日本エリアの観光支援のため、R 2 年度は、GoToトラベル事業の対象となるドライブパスを実施し、R 3 年度も引き続き「西日本観光周遊ドライブパス」を J B 本四高速と連携し実施。
- R 4 年度についても、観光振興を通じた四国の更なる活性化を目指し、7 月 1 5 日より「四国まるごとドライブパス！2022」を実施中。

1. 企画割引の概要（R 3 年度の事例）

西日本観光周遊ドライブパス

【対象期間】

令和3年11月8日（月）～令和3年12月20日（月）

【プラン内容】

- ・E T C 車限定で関西・中国・四国・九州の4地域を対象に13プランを用意
四国地域は四国内が乗り放題になる「四国乗り放題プラン」を実施
- ・JB本四高速の全路線が対象エリアに加わり、四国だけでなく、しまなみ海道の島々や淡路島などの瀬戸内海エリアまで周遊いただけるプランも用意



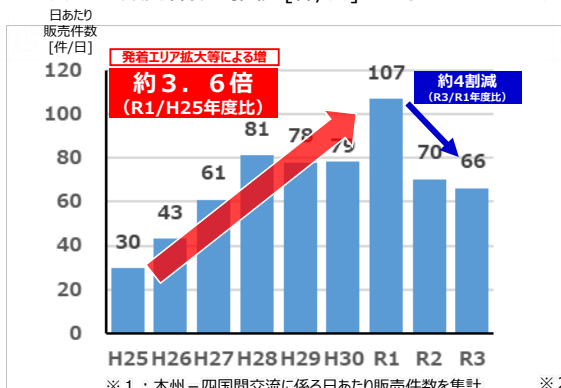
【販売価格（JB本四高速セットプラン）】

乗り放題プラン	日数	軽自動車等	普通車
四国乗り放題プラン	2 日間	5,000円	6,300円
	3 日間	5,500円	6,900円
四国乗り放題プラン (JB本四高速セットプラン)	2 日間	7,800円	9,800円
	3 日間	8,300円	10,400円

2. R 3 年度までの販売状況

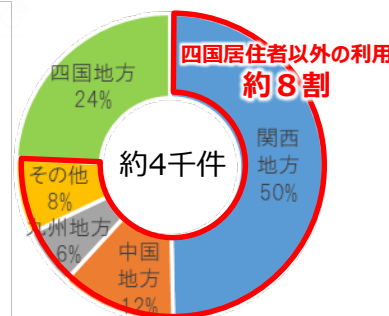
- 販売件数（※1）はH 2 5 からR 1 年度比で『約 3 . 6 倍』に増加
- コロナ禍の外出自粛ムードや感染症再拡大による申込受付停止等により
R 2 年度以降の日あたり販売件数は減少傾向
- R 3 年度については、四国居住者以外の利用が全体の『約 8 割』（※2）を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

▼日あたり販売件数の推移【件/日】（※1）



※ 1 : 本州 - 四国間交流に係る日あたり販売件数を集計
(四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を除く)

▼R 3 年度 居住地別利用割合【%】（※2）



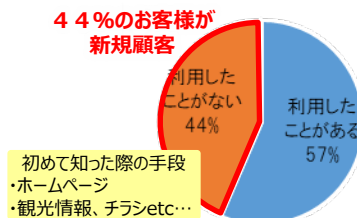
※ 2 : R 3 年度全プランの総販売件数
(四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を含む)

3. R 3 年度取組みに関するアンケート結果

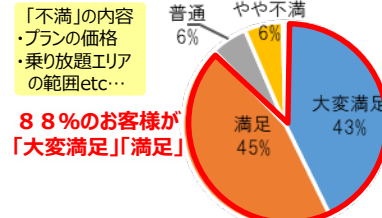
○約44%のお客様が周遊割引を初めて利用される新規顧客

○約 9 割のお客様が「大変満足」「満足」と回答

▼ R 3 年度 周遊割引の利用経験【%】



▼ R 3 年度 周遊割引の満足度【%】



<NEXCO西日本> 高速道路を活用した地域貢献の取組み

○NEXCO西日本では、高速道路を通じた地域活性化や自治体や関連団体と連携したキャンペーンなどお客様に地域を楽しんでいただける新しいクルマ旅を提案しています。

○ えひめ南予きずな博ドライブパス

【対象期間】

令和4年4月24日（日）～令和4年12月25日（日）

※4月28日～5月8日、8月10日～8月16日は除く

【対象車種】

・ETC利用の軽自動車等（二輪車を含む）、普通車

【プラン内容・販売価格】

・愛媛県南予エリア（川内IC以西）が定額料金で乗り放題となる関西・中国・四国を発着エリアとする割引プラン

プラン	利用期間	普通車	軽自動車等
関西発着プラン	3日間	7,800円	6,200円
中国発着プラン	3日間	5,600円	4,500円
四国発着プラン	3日間	5,600円	4,500円

【周遊エリア】



○ お国じまんカードラリー 2022

本四高速及び西日本各府県と連携し、西日本エリア156スポットに設置してあるカードを集めて応募すれば、そのポイント数に応じた賞品が当たるキャンペーンを実施しています。

今年度は新たに西日本各府県の観光地を紹介する『観光ごしまん動画ラリー』も併せて開催しており、旅行前の旅先チェックに活用いただけます。

（期間：2022年4月28日～2023年1月31日）



○ 地域連携の取組み

過年度より、各県の自治体の皆様に、高速道路の休憩施設で、観光PRや地域製品の販売などのプロモーションを実施いただいております。

今年度も引き続き、高速道路資産を活用した地域の発展・活性化に積極的に取り組んでいきます。



馬立PA④屋外スペース（令和3年10月）
愛媛県・四国中央市による地元特産品及び観光PR

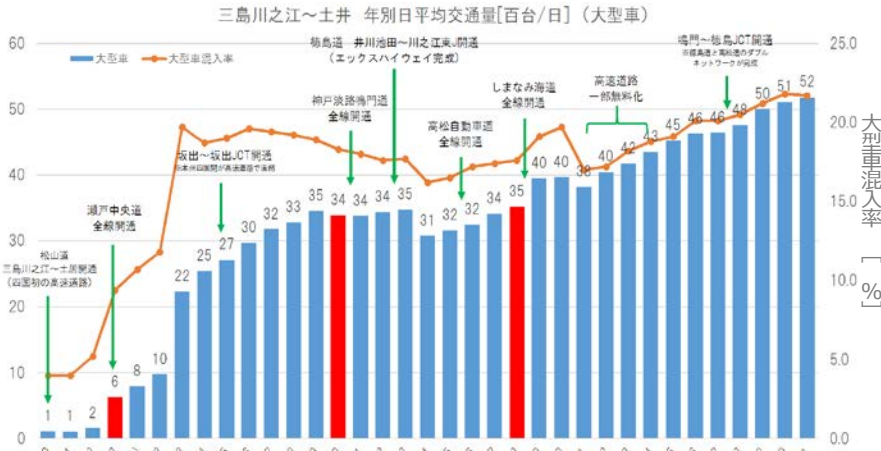


豊浜SA⑤（令和3年6月）
屋内スペースにおける観光PR

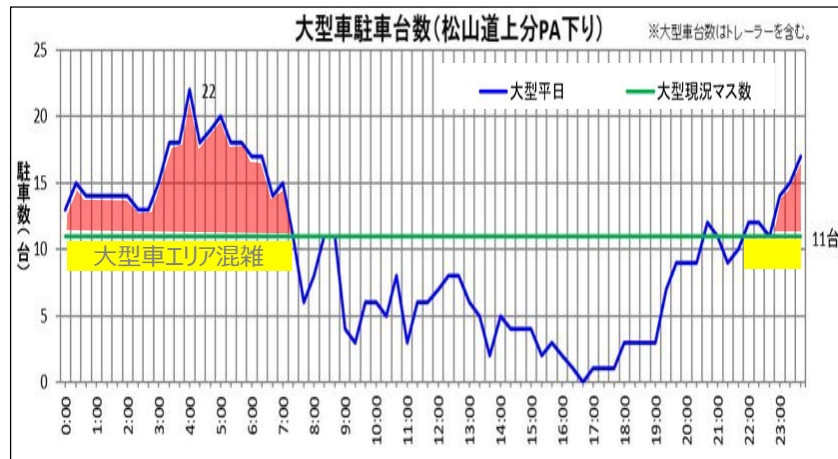
<NEXCO西日本> 物流支援の取組み（休憩施設駐車マス混雑対策）

- 四国内の高速道路の一部休憩施設で、平日夜間を中心に大型車駐車エリアの混雑が顕在化。
- H27年度より駐車マス混雑への対応として、既存休憩施設の駐車エリアを有効活用した、駐車マスの拡充を実施中。
- 引き続き、物流を支えるドライバーに必要な休息を提供できるようSA・PA駐車マス等の確保に取り組みます。

◆瀬戸中央自動車道開通及び8の字ネットワーク等の整備により、**大型車の交通量がS63年から約9倍に増加！**



◆一部休憩施設の大型車エリアにおいて、夜間22時以降から朝7時までの間で混雑が顕著



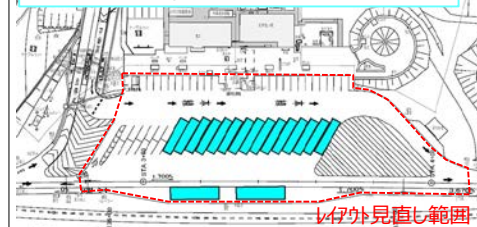
- ◆H27年度より15エリア(上下線別)で駐車マスを拡充
四国エリアの休憩施設の**大型車マス全数582台が633台に増加！**
- ◆R3年度は吉野川ISA(上下線)にて駐車マスを拡充(15台→24台)



＜府中湖PA（上り）駐車マス拡充事例＞

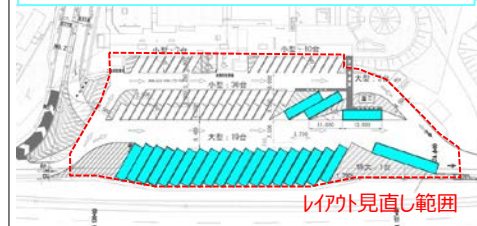
拡充前 大型車マス数：17台

(拡充前) 駐車状況



拡充後 大型車マス数：23台(+6台)

(拡充後) 駐車状況



環瀬戸内海地域の交流促進に向けた本協議会の取組



情報発信

- 観光地名称を表示した標識
⇒直轄国道以外に拡大
- 案内の多言語化
⇒英語表記の適正化
- 高速道路ナンバリング等
⇒印刷物への記載促進
- 自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報
- 情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ
- 四国八十八景のプロモーション
- 本四高速の新たな料金の広報
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信



観光連携

- 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウオーク
- 観光地における渋滞緩和
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- 2次交通の改善、M a a S
- 周遊を支援する事業の実施
⇒県独自の取組み



産業連携

- 物流機能の強化
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- 産業基盤の整備
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- ワークーション、サテライトオフィス等の取組



生活、文化等

- 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加



その他

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- 「道の駅」施設管理における見える化
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- 道路ネットワーク整備

【令和３年度の取組】「四国八十八景・道の駅電子スタンプラリー」の実施

◆ 实施概要

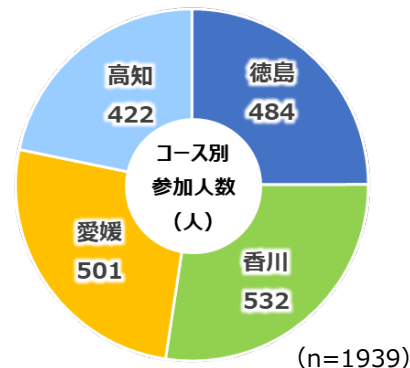
開催期間：令和3年11月1日（月）～ 令和4年1月31日（月）
開催目的：四国八十八景と四国道の駅が連携し、四国内周遊観光の活性化を図るため

参加条件：位置情報が取得できるスマートフォン所有者

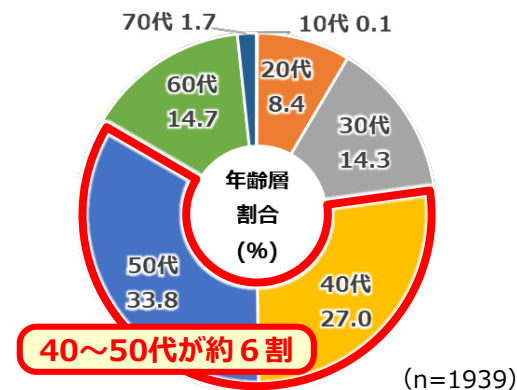


◆ 実施結果

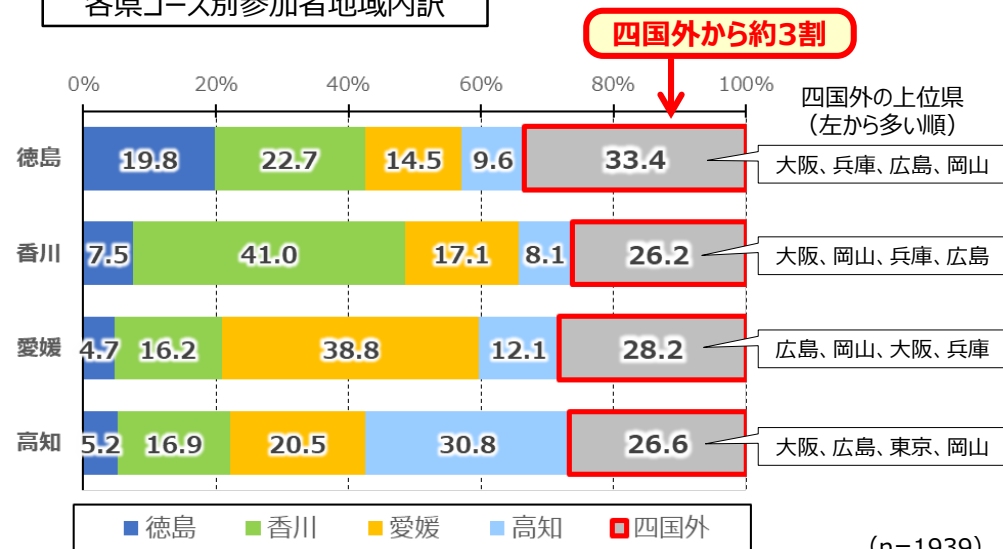
各県コース別参加人数



参加者年齢層割合



各県コース別参加者地域内訳



徳島南部自動車道

至 鳴門市

徳島自動車道

至 三好市

N

徳島IC

11

徳島市役所

徳島県庁

徳島沖洲IC

徳島小松島港 沖洲(外)地区

徳島小松島港 津田地区

徳島津田IC (徳島県整備)

徳島市

小松島IC (仮称)

小松島市役所

小松島市

立江櫛渚IC (仮称)

勝浦町

阿南市

至 室戸市

徳島JCT

とくしま

とくしまおきのす

とくしまつだ

阿南IC (仮称)

延長4.7km (NEXCO施行区間)

令和4年3月21日開通

延長2.4km (国施行区間)

令和3年3月21日開通

延長4.9km

延長10.0km

四国横断自動車道 阿南 徳島東

凡例

- 高速道路
- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)

Map of the Tokushima Expressway (E32) showing congestion points. The map highlights the route from Tokushima IC to Tokushima JCT, passing through the Tokushima Ring Road. Key locations marked include Tokushima IC, Tokushima JCT, Tokushima Port, and Tokushima Bay. A legend indicates that red dots represent major congestion points. The map also shows the surrounding area, including the city of Tokushima and the Tokushima Bay area.



○徳島小松島港津田地区では遊休化していた水面貯木場を新たな企業用地として活用（徳島県）

徳島小松島港・津田地区
企業用地のご案内

【NEWS】
令和4年3月21日、津田地区が
全国の高規格道路ネットワーク
に直結!!

至 徳島沖洲IC

徳島湾自動車道

徳島津田IC

徳島津田インター線

徳島県 59 小松島

〈四国地整〉「情報発信」「その他」に関する取組内容（四国八十八景のプロモーション・道の駅相互連携）

【令和4年度の取組予定】

◆2022四国地区道の駅デジタルスタンプラリー企画

実施期間：2022年10月1日～12月31日 3ヶ月間（予定）
参加対象：89駅（休館中3駅含む）
手 法：スマートフォンによるスタンプの取得へ変更

JAFナビ 四国 トップ画面（案）

四国道の駅デジタルスタンプラリー開催中
2022,10,1～12,31



前回からの変更点

①「GPSスタンプ取得型」から「二次元バーコード読み取りスタンプ取得型」へ

各道の駅に貼付したチラシ「二次元バーコード」読み取り取得のため店内へ誘導でき「売上への貢献」が期待。

②「スポットクーポンの設定」

今回の施策においては、各道の駅にて「スポットクーポン」を設定することにより、重点販売商品への誘導が可能。

◆四国八十八景電子スタンプラリー

実施期間：3ヶ月～6ヶ月程度、令和4年秋頃開始予定
実施目的：四国八十八景の認知度向上・四国内周遊観光の活性化
実施方法：GPSなど位置情報サービスを活用し、スマートフォンなどで電子スタンプを取得



※現在、四国運輸局にて開催に向け調整中。